

第36回 公益社団法人日本看護科学学会総会 議事録

日 時 平成28年12月10日(土) 16:30~18:00
場 所 東京国際フォーラム (ホールB7)
東京都千代田区丸の内3丁目5-1 TEL: 03-5221-9000

出席者数 2,828名(会場103名、委任状2,725名)
議 長 岡谷 恵子

I. 開会

現正会員数8,755名中、開会時会場出席正会員数28名、有効委任状提出者2,725名、合計2,753名であり、日本看護科学学会定款第45条に定められた要件を満たしていることが確認され、公益社団法人日本看護科学学会第36回学会総会が開会された。

司会は井上智子副理事長、書記は中村康香(東北大学大学院)で行なわれた。

II. 理事長挨拶

萱間真美理事長より以下の挨拶があった。

第36回日本看護科学学会学術集会は好天に恵まれ開催となった。この学術集会では岡谷学術集会会長のもと活気にあふれた学術集会になっている。

今年は日本各地で多くの天災があり、被害・影響のあった会員の皆様には心からお見舞いを申し上げるとともに、様々な社会問題に対し、健康やライフステージに関わる公益社団法人日本看護科学学会として、今後、どのように貢献していくか、アプローチの方法を考えていかなければならないと思っている。

本日の本学会総会では、この1年間の学会活動のご報告をした後、来年度の事業計画や予算に関する説明を行う。会員からのご意見を頂戴する貴重な機会であり、忌憚のないご意見をお願いしたい。

III. 議長指名および議事録署名人の承認

定款第44条に従い、議長は岡谷恵子第36回学術集会会長が指名された。また議事録署名人として、木下由美子氏(九州大学大学院)、牧野智恵氏(石川県立看護大学)の2名が推薦され、承認された。

IV. 報告事項

麻原理事より、スクリーンと資料に基づき報告された。

1. 総務報告(資料P.3)

資料に基づき会員数の推移が報告された。

平成28年4月1日の正会員数は7,902名、平成28年度の入会者は856名、死亡喪失者1名、平成28年10月31日現在の正会員数は8,755名、名誉会員16名、賛助会員5件、会員総数8,776名であり、正会員数は年々増加傾向である。

2. 理事会および社員総会報告(資料P.4-7)

麻原理事より、平成27年度第6回理事会、平成28年度の理事会(第1-5回)について、資料に基づき報告された。理事会では通年、各委員会からの報告、提案事項の審議、併せて入会希望者の承認を行っている。

続いて平成28年6月定例社員総会・12月社員総会について報告された。(資料P.8)

3. 委員会活動報告（資料P.12-16）

1) 総務委員会

入会審査、会員データの管理、事務所業務遂行状況の確認、就業規則、賃金規程などの各種規程の整備に着手した。

2) 和文誌編集委員会

日本看護科学学会誌 36 巻の発刊、平成 28 年 1 月 1 日より電子投稿システム ScholarOne Manuscripts を利用している。平成 28 年 1 月以降の投稿論文数は 86 論文（平成 28 年 10 月 21 日現在）であった。査読システムガイドラインを改訂中である。和文誌セミナー（平成 29 年 3 月）に向け準備中である。

3) 英文誌編集委員会

Japan Journal of Nursing Science (JJNS) Vol.13 をオンラインで発刊した。投稿論文数は 275 論文（平成 28 年 10 月 14 日現在）であった。平成 28 年 11 月 12 日に JJNS セミナーを開催した。若手研究者支援事業は申請がなく、今年度は見送った。JJNS プロモーション活動の一環として、平成 27 年度受賞論文をフリーアクセスとした。また、平成 27 年度の Impact Factor は 0.458（平成 28 年 6 月発表）であった。JANS36 で、JJNS 投稿コンサルテーションを実施した。

4) 研究・学術情報委員会

平成 28 年 3 月 26 日に第 7 回 JANS セミナー、平成 28 年 6 月 19 日に第 8 回 JANS セミナーを開催した。「看護保健分野政策提言のための研究課題の優先順位の特定及び研究推進の Strategic Plan の設定」については調査中である。看護系学会等社会保険連合委員会（看保連）の情報交換会に出席した。

5) 国際活動推進委員会（世界看護科学学会を含む）

異文化データベースの見直しを行った。「看護系大学院教育のグローバル化」に関する状況調査については、JANS36 交流集会（12 月 11 日）にて報告する。国際看護・国際保健にかかわる会員ネットワークの構築を行っている。

6) 看護学学術用語検討委員会

「看護学を構成する重要な用語集」の利用実態を把握するため Web 調査を実施。看護学における学術用語及び概念開発に関する議論をホームページで発信した。

7) 看護倫理検討委員会

研究者が研究活動における不正防止及び倫理の遵守の実施状況について Web 調査を実施、JANS36 交流集会にて報告する。研究倫理に関する啓発活動として、既存の e-learning を JANS ホームページで紹介、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の改正に関するパブリックコメントについて検討した。

8) 社会貢献委員会

JANS36 における企画として、市民フォーラム「身終い～人生の終え方～」、高校生を対象としたナーシング・サイエンス・カフェは「看護職を志向するあなたへー看護の多様な働き方紹介しますー」を企画した。

9) 表彰論文選考委員会

優秀賞 2 件・奨励賞 2 件を審査・選考し、理事会に報告、承認を得た。

10) 広報委員会

JANS36 企画委員会と連携し広報活動、学会ホームページの更新、他機関からのリンク依頼に関する基準の設置を実施した。また、研究を実践へトランスレーションするための仕組みを準備中である。

11) 若手研究推進委員会

JANS36 交流集会、若手ステップアップ研修、若手ブースの企画、モーニングセッションのファシリテーターなどを企画した。JANS 若手の会ホームページでの情報発信と、若手研修ニーズ調査を実施。また JANS 若手メーリングリストを活用し情報の発信を行った。日本学術会議主催公開シンポジウムへの参加と情報の発信、第 9 回 JANS セミナー、及びエリア・コーディネータの組織化などを企画した。

12) 利益相反委員会

役員、学術集會会長、各委員会委員の利益相反申告書の内容確認を行った。

- ・日本看護科学学会誌投稿時の利益相反申告（平成 28 年 4 月 1 日より）
- ・学術集會演題登録時の利益相反申告（JANS36 より）
- ・セミナー、学術集會等の講師の利益相反申告

また「日本看護科学学会における学術活動の利益相反に関する指針」の細則の一部を改正した。

13) 研究倫理審査委員会

1 件の申請があり、簡易審査を行った。本会委員会活動における研究を対象とした研究倫理審査に関する申し合わせを策定した。

14) 災害看護支援事業専門委員会

日本看護系学会協議会と連携した助成事業は終了した。共同事業のために設けた募金口座の残額は、公益社団法人熊本県看護協会へ全額寄付した。

15) 他機関との連携活動

① 日本看護系学会協議会

- ・平成 28 年度総会（6 月 29 日）に出席した。
- ・平成 29 年度役員選挙にかかわる選挙管理委員の推薦を行った。

② 看護系学会等社会保険連合

- ・平成 28 年度社員総会（4 月 25 日）に出席した。
- ・研究助成対象者の推薦を行った。

③ 日本学術会議

- ・日本学術会議からのニュース・メールを役員に提供した。

④ その他の機関

- ・第 2 回山上の光賞に近藤潤子氏を推薦し 5 月 10 日に授賞式が行われた。
- ・日本医療安全調査機構に、医療事故個別調査部会員を推薦した。

16) 選挙管理委員会

平成28年9月22日に第1回選挙管理委員会を開催し、理事候補者選挙の準備を行った。公示は平成29年1月を予定しており、電子投票受付期間は平成29年2月1日～26日、開票は平成29年2月27日の予定である。

上記の報告に対して特に質疑はなかった。

4. 平成27年度決算報告（資料P.17-30）

村嶋理事より、資料に基づき平成27年度決算が報告された。（平成28年6月社員総会承認済み）
収支計算書（P.28-30）は、事業活動収支の部の事業活動収入として、特定資産運用収入、会費収入、学会誌収入、寄付金収入、雑収入、学術集会収入の事業活動収入合計は、138,744,240円であった。

事業活動支出において、委員会活動、学術集会を合わせ事業費支出が80,312,657円、公益社団法人として運営をしていく上での管理費支出として47,914,772円であり、それらを合計し128,227,429円の支出となった。従って、当期の事業活動収支差額が10,516,811円、予備費支出は0円であり前期繰越収支差額と合わせ、次期繰越収支差額が96,292,463円となった。具体的な内訳は、資料P.30の※1-27を参照

貸借対照表（資料P.18）は、資産の部として、流動資産合計が116,569,161円、固定資産合計が7,176,947円で、資産合計は123,746,108円であった。一方、負債の部として、流動負債合計が22,353,312円、固定負債合計が3,878,900円であり、負債合計は26,232,212円であった。従って正味財産（資産－負債）は97,513,896円となり、内訳として基金が72,926,624円、指定正味財産が78,472円、その他一般正味財産が24,508,800円となった。なお、負債及び正味財産合計は資産合計と同額の123,746,108円となっている。（会計別内訳は資料P.19を参照）

正味財産増減計算書は資料P.20-21、公益社団法人として、内閣府に提出の正味財産増減計算書内訳表は資料P.23-24を参照。法人税、住民税及び事業税は70,000円となっており、これは均等割りで東京都に納付している税金である。税金が70,000円で済んでいるのは、本会が公益社団法人として公益事業に重きを置いて活動をしている結果である。なお、正味財産増減計算書の正味財産期末残高の合計と貸借対照表の正味財産額は一致している。

監査報告（差し込み資料）

平成27年度決算に関し、独立監査人（公認会計士）の監査報告書の報告（代読）、および2名の監事による事業報告、財務諸表等の監査結果について、法令に準拠し適正である旨の報告が南監事からあった。

上記の報告に対して質疑はなかった。

5. 平成29年度事業計画の報告（資料P.31-34）

萱間理事長および、各委員会委員長より、資料に基づき、平成29年度事業計画が報告された。

1) 学術集会

第37回日本看護科学学会学術集会は、平成29年12月16日（土）・17日（日）に仙台国際センターにて、吉沢豊予子学術集会会長のもと行われる。

第38回日本看護科学学会学術集会は、平成30年12月15日（土）・16日（日）に佐伯由香学術集会会長のもと愛媛（ひめぎんホール）で行われる予定である。

第39回日本看護科学学会学術集会の準備にも着手している。

2) 総務委員会

入会審査、会員管理と会員向けのコミュニケーションサービスの充実を目指す。事務所機能

の向上を目的に、職員と面談を行い、評価・査定を実施する。また職員に研修機会を設け、スキルアップを図る。

3) 和文誌編集委員会

日本看護科学学会誌第37巻を発行予定である。新査読ガイドラインに則り、査読システムの効果的運用と質の向上を図る。特に原著論文と総説の投稿の促進、また和文誌編集委員、査読者の活動を支援する教育プログラム（交流集会）をJANS37で開催していく予定である。投稿論文の図表・引用文献のイニシャルチェックを引き続き中西印刷に委託する。

4) 英文誌編集委員会

JJNS Vol.14を発行予定である。JJNSセミナーの開催およびJJNSプロモーション活動を受賞論文のオープンアクセス以外にも検討していく。若手研究者の支援活動も引き続き行う。

5) 研究・学術情報委員会

看護における優先研究課題に関する情報収集及び発信と研究者ネットワークの構築、看護学研究者の研究能力向上のための事業活動を実施する。

6) 国際活動推進委員会

異文化看護データベースを「グローバル看護データベース」に名称変更し再構築を進めていく。データベースの再構築のための資金確保として、平成29年度科学研究費の研究成果促進費に応募した。採択されない場合もシステムの再構築は進める予定である。また、WANS事務局業務として、2017年10月にバンコク（タイ王国）でWANS理事会を開催する。WANSのホームページの維持管理、ネットワークの拡大を推進する。

7) 看護学学術用語検討委員会

看護学学術用語の検討に関する議論の発信、看護学学術用語の検討を引き続き行う。

8) 看護倫理検討委員会

研究倫理の遵守及び研究活動不正防止について啓発活動を行う。看護学が関連する倫理的社会事象に対する情報収集と対応案の検討を行う。

9) 社会貢献委員会

JANS36においてナーシング・サイエンス・カフェ、市民フォーラムを実施、第37回学術集会に向けた社会貢献事業の検討・準備を行い、市民フォーラム、ナーシング・サイエンス・カフェを開催する。また、学術集会以外でもJANSとしての社会貢献のあり方を検討する。

10) 表彰論文選考委員会

表彰論文の選考を行い公表する。

11) 広報委員会

学会広報媒体の作成・維持・管理とともに、WANSに関連した広報を行う。学術集会の記録（カメラ撮影など）など、広報活動を引き続き行う。JANSで生まれた研究を実践へトランスレーションするための周知活動を新事業として行う。

12) 若手研究推進委員会

学術集会での交流集会や研修の企画運営、国内外の若手研究者との交流、「若手の会」ホームページの管理・更新、エリア・コーディネータの育成、メーリングリストを通しての情報交

換や相互交流の促進等を予定している。

13) 利益相反委員会

役員、委員会委員、和文誌・英文誌投稿者、学術集会における発表者を対象にCOIを実施し、評価を行う。また、利益相反における問題が生じた折の対処を行う。

14) 研究倫理審査委員会

倫理審査申請がありしだい審査を行う。

15) 他機関との連携

下記の各機関と連携活動を進め、情報交換や依頼事項などに対応する。

- ① 日本看護系学会協議会
- ② 看護系学会等社会保険連合（看保連）
- ③ 日本学術会議

16) 選挙管理委員会

理事候補者選挙結果により理事候補者名簿を作成し、理事会へ提出する。
次期選挙委員会への送付事項の整理を行う。

上記の報告に対して質疑はなかった。

6. 平成29年度予算の報告（資料P.35-39）

村嶋理事より、平成29年度予算が報告された。

収支予算書（P.35-37）の事業活動収支の部の事業活動収入として、特定資産運用収入1,000円、会費収入91,800,000円、学会誌収入590,000円、寄付金・助成金収入として国際活動推進委員会が応募中の科学研究費が1,500,000円、雑収入5,496,000円、学術集会収入50,885,000円であり、事業活動収入合計は、150,272,000円である。

事業活動支出として、学会誌発行費、編集活動費、看護学術振興費、研究学術活動支援費、社会的活動費、学術集会費を各々資料のとおり計上している。総務費はこれまで事業費に計上していたが、公益認定上の区分に準じ、管理費に移動した。これらと管理費分を加算した事業活動支出合計は138,539,000円となり、事業活動収支差額が11,733,000円となる。これに什器備品購入費、予備費を計上した結果、当期収支差額が8,625,000円で、次期繰越収支差額は104,844,463円の予算となった。なお、特定資産積立金として、選挙費用積立預金、退職給付引当資産を積み立てる予定であるとの説明があった。

上記報告に対し、以下の質疑・意見があった。（以下3件）

<質問>1億円を超える次期繰越金は、今後、どのような使用目的を考えて繰り越しているのか、もしくは、どのように対応していくのか、お教えいただきたい。

<回答>公益社団法人になり、学術集会と学会の収支が1本化し、今では基金（72,926,624円）以上の繰越金が発生するまでになった。しかし、以前は収支状況がマイナスとなり、基金以外の正味財産もマイナスとなる、つまり基金が確保できていない状況も続き、ここ数年は正常に戻すための運営を行ってきた。従って、これからが学会として剰余金の使用を考えていくべき時期であり、引き続きリスク管理を行い、状況を見ながら理事会で検討していきたい。（萱間理事長）

<意見>学会が大きく成長してきた理由があるはずである。「日本看護科学学会」ならではの求められる役割、例えば、看護と他領域との融合、学術的・施策的な意見、新企画の立ち上げ等を考え、研究が成長していくような様々な仕掛けをし、攻める姿勢で企画を進めていただきたい。

<質問>金沢の学術集会（第12回）後の理事会で、日本看護科学学会は、ほかの専門看護学会と比較して、どの方向に進んでいくのかを考えなければならない、と検討した記憶がある。しかし、その後、継続審議となり、議題から消えてしまったと思われる。今後、どのような姿勢をとるのか、方向性をおしえてほしい。アイデアでも良いのでお聞かせ願いたい。

<回答>田村理事長の時、将来構想委員会が外部委員も含め開催された。その際は、財務状況が厳しい時期であったため、賛助会員の増加、セミナーの開催、若手の育成などが話題にあがった。現在も引き続いてはいるが、状況が以前とは異なってきており、新たな将来構想に関して、検討していく時期ではあると思うので、進めてまいりたい。（萱間理事長）

<意見>来年は理事が交代する時期であるので、次期理事に引き継いで、しっかり将来構想委員会を立ち上げて進めていただきたい。

<質問>私の記憶では、以前の学会はとても情熱があったように感じている。会員が8,000人を超えるのに、総会への参加者が少ない。例えば、地方で学会を開き、年1回の大きな学会は大都市で開催する（地方で選ばれた優れた研究発表を行う）ような階層的な開催をするといった案はどうだろうか。早急に対策を検討し、日本看護科学学会ならではの情熱と質を実現してほしい。

<回答>学会総会の位置づけの変化として、公益社団法人に移行し社員総会が決議機関になった。学会総会では、決算や活動報告について詳細にご報告し、貴重な会員のご意見を直接いただく場となっている。昨年度からそのように位置づけ、参加者は増加してきているところである。学会総会の運営については、引き続き課題として検討していきたい。（萱間理事長）

7. 名誉会員の承認報告（資料P.40-42）

萱間理事長より、近藤潤子先生、矢野正子先生の2名の先生が平成28年6月定例社員総会にて新たに名誉会員として承認されたことが報告された。

8. 第39回日本看護科学学会学術集会長を選任報告（資料P.43）

平成31(2019)年開催の第39回学術集会(JANS39)会長として、石垣和子氏(石川県立看護大学)が昨日の社員総会にて承認された旨の報告があった。

9. その他

そのほか報告や意見は特になかった。

以上をもって学会総会の報告が終了した。

V. 表彰

表彰論文選考委員長の真田理事に代わり、同委員会の委員であり英文誌編集委員会委員長のグレッグ理事が表彰者4名を紹介し受賞者が登壇した。

その後、萱間理事長より、表彰状と副賞が授与された。対象論文は以下となる。

〔優秀賞〕2名

・ Kyoko Asazawa

Effects of a partnership support program for couples undergoing fertility treatment.

- Tomoko Kamei, Fumiko Kajii, Yuko Yamamoto, Yukako Irie, Rumi Kozakai, Tomoko Sugimoto, Ayako Chigira and Naoakira Niino

Effectiveness of a home hazard modification program for reducing falls in urban community-dwelling older adults: A randomized controlled trial

〔奨励賞〕 2名

- Michiko (Nakakita) Kenyon

Randomized controlled trial on the relaxation effects of back massages for puerperants on the first post-partum day

- Chie Teramoto, Atsushi Matsunaga and Satoko Nagata

Cross-sectional study of social support and psychological distress among displaced earthquake survivors in Japan

受賞者を代表し、朝澤恭子氏より受賞の挨拶があった。

VI. 第37回日本看護科学学会学術集会会長 挨拶

第37回学術集会会長吉沢豊予子氏より以下の挨拶と説明があった。

2017年12月16日（土）、17日（日）の両日に、仙台国際センターにて第37回日本看護科学学会学術集会を開催する。メインテーマは「看護におけるダイバーシティデザイン 社会が求めるケアイノベーションをめざして」である。本学術集会では、新しい取り組みとしてN-TEDやデジタルポスターの使用を企画している。

その他報告として、日本看護科学学会事務所は現在9名（常勤職員6名、パート3名）で運営しているが、2002年の事務所の立上げから尽力いただいた、竹市真樹氏が来年3月で退職、本年7月より有田孝行氏が所長として着任している旨、理事長から報告があり両名による挨拶があった。

VII. 閉 会

司会の井上副理事長より、最終的な会場出席正会員は103名である。委任状を含め、合計2,828名となり、学会総会が成立していることが改めて報告され、閉会となった。

以上

この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人により以上の議事を認め記名押印する。

平成29年 2月9日

議 長 岡谷 恵子 印

議事録署名人 木下 由美子 印

議事録署名人 牧野 智恵 印

第36回 公益社団法人 日本看護科学学会総会

日 時 平成28年12月10日(土) 16:30~18:00

場 所 東京国際フォーラム ホールB7 (第2会場)

東京都千代田区丸の内3丁目5-1 TEL: 03-5221-9000

【議事次第】

I. 開 会

II. 理事長挨拶

III. 議長指名および議事録署名人の承認

IV. 報告事項

1. 総務報告

2. 理事会報告および社員総会報告

3. 委員会活動報告

4. 平成27年度決算報告及び監査報告

5. 平成29年度事業計画の報告

6. 平成29年度予算の報告

7. 名誉会員就任報告

8. 第39回日本看護科学学会学術集会会長の選任報告

9. その他

V. 表 彰

VI. 第37回日本看護科学学会学術集会会長 挨拶

VII. 閉 会

公益社団法人日本看護科学学会 役員

理事長 萱間 真美

副理事長 井上 智子

理事：麻原きよみ、勝原裕美子、鎌倉やよい、グレッグ美鈴、酒井 郁子、
真田 弘美、高田 早苗、中山 洋子、西垣 昌和、西村 ユミ、
村嶋 幸代、山本 則子、吉沢豊予子

監事：阿曾 洋子、南 裕子

名誉会員

飯田澄美子、稲岡 文昭、氏家 幸子、薄井 坦子、金川 克子、川嶋みどり、
小玉香津子、近藤 潤子、中島紀恵子、林 滋子、樋口 康子、日野原重明、
前原 澄子、松野かほる、矢野 正子、山崎 智子

賛助会員

(株)医学書院、(株)南江堂、(株)日本看護協会出版会、ヌーヴェルヒロカワ、
(株)へるす出版

(以上、五十音順・平成28年11月30日現在)

日本看護科学学会学術集会会長

第36回学術集会会長 第37回学術集会会長 第38回学術集会会長

岡谷 恵子

吉沢 豊予子

佐伯 由香

社員

【北海道】

石垣 靖子
稲葉 佳江
大日向 輝美
河口 てる子
河原田まり子
荃津 智子
中村 恵子
松浦 和代
三国 久美
矢野 理香
山田 律子
良村 貞子

【東北】

朝倉 京子
一戸 とも子
遠藤 芳子
小野 幸子
工藤 せい子
佐藤 富美子
塩飽 仁
武田 淳子
武田 利明
原 玲子
布施 淳子
古瀬 みどり
眞壁 玲子
宮下 光令
吉沢 豊予子
吉田 俊子

【関東A】

飯田 苗恵
岩永 喜久子
上野 恭子
内田 陽子
角田 直枝
金子 昌子
加納 尚美
川口 孝泰
神田 清子
近藤 浩子
佐藤 正美
佐藤 由美
鈴木 純恵
中村 美鈴
成田 伸
春山 早苗

廣瀬 規代美
福島 道子
森 千鶴
横山 京子
吉田 久美子

【関東B】

青木 きよ子
荒木 暁子
荒木田美香子
石井 邦子
石橋 みゆき
太田 喜久子
大塚 眞理子
叶谷 由佳
黒田 久美子
黒田 裕子
酒井 郁子
坂上 明子
佐藤 紀子
佐藤 まゆみ
諏訪 さゆり
田高 悦子
谷本 眞理子
手島 恵
長江 弘子
野地 有子
正木 治恵
眞嶋 朋子
増島 麻里子
宮崎 美砂子
宮脇 美保子
森 恵美
吉田 千文

【東京A】

麻原 きよみ
泉 キヨ子
井上 智子
井部 俊子
及川 郁子
上別府 圭子
亀井 智子
萱間 眞美
齋藤 やよい
眞田 弘美
武村 雪絵
田代 順子
永田 智子

西村 ユミ
深堀 浩樹
堀内 成子
前田 樹海
丸 光恵

森田 夏実
山本 則子

【東京B】

秋山 正子
飯野 京子
柏木 公一
香春 知永
川野 雅資
北 素子
洪 愛子
佐々木 幾美
佐藤 紀子
志自岐 康子
高田 早苗
武田 祐子
鶴田 恵子
野末 聖香
平野 かよ子
福井 トシ子
本庄 恵子
宮子 あずさ
守田 美奈子
吉田 みつ子
綿貫 成明

【甲信越】

浅川 和美
阿部 正子
遠藤 みどり
小林 たつ子
小林 康江
定方 美恵子
清水 嘉子
水野 恵理子
渡邊 タミ子
渡辺 みどり

【北陸】

稲垣 美智子
上野 栄一
川島 和代
紺家 千津子
須釜 淳子
平松 知子

牧野 智恵

【東海】

會田 信子
足立 はるゑ
足立 久子
天野 瑞枝
池松 裕子
岩瀬 信夫
太田 勝正
大津 廣子
大西 文子
岡田 由香
門間 晶子
鎌倉 やよい
紙屋 克子
北山 三津子
黒江 ゆり子
小島 操子
小松 万喜子
杉浦 太一
鈴木 みずえ
多喜田 恵子
深田 順子
古田 加代子
本田 育美
村本 淳子
百瀬 由美子
柳澤 理子
山内 豊明
山田 紀代美

【近畿A】

青山 ヒフミ
阿曾 洋子
荒尾 晴恵
安藤 幸子
上野 昌江
江川 幸二
小笠原 知枝
北村 愛子
工藤 美子
グレッグ美鈴
河野 あゆみ
坂下 玲子
佐藤 禮子
清水 安子
鈴木 久美
鈴木 志津枝

高見沢恵美子
田中 京子
泊 祐子
檜木野 裕美
簀持 知恵子
早川 和生
林 優子
藤原 千恵子
法橋 尚宏
増野 園恵
町浦 美智子
松田 宣子
森 菊子
山本 あい子

【近畿B】

江川 隆子
遠藤 俊子
岡山 寧子
桂 敏樹
我部山キヨ子
河原 宣子
北島 謙吾
小板橋喜久代
田村 恵子
西田 直子
任 和子
野村 陽子
星野 明子
若村 智子

【中国・四国】

秋元 典子
池添 志乃
植田 喜久子
岡本 玲子
雄西 智恵美
掛田 崇寛
國方 弘子
小山 眞理子
佐伯 由香
島内 節
新道 幸恵
祖父江 育子
竹崎 久美子
田中 マキ子
近田 敬子
津島 ひろ江
時長 美希

中西 純子
中野 綾美
中山 洋子
西田 真寿美
乗松 貞子
深井 喜代子
藤田 佐和
保科 英子
南 裕子
宮腰 由紀子
宮下 美香
森本 美智子
森山 美知子
山勢 博彰

【九州・沖縄】

宇佐美しおり
宇都 由美子
浦田 秀子
大池 美也子
岡崎 美智子
奥 祥子
小野 ミツ
嘉手苺 英子
木下 由美子
金城 芳秀
国府 浩子
佐藤 香代
正野 逸子
田中 美智子
堤 由美子
寺町 芳子
中尾 久子
鳩野 洋子
東 サトエ
日高 艶子
藤崎 郁
藤田 君支
前田 ひとみ
松浦 賢長
松尾 ミヨ子
三重野 英子
村嶋 幸代

以上、264名
地区別
五十音順

(平成28年11月30日現在)

総務報告

1. 会員推移（平成28年4月1日～平成28年10月31日）

1) 正会員数増減

①平成28年4月1日正会員数

7,902名＝平成28年3月31日正会員数 8,384名 － 平成28年度資格喪失者 482名

(自主退会204名、会費未納303名)

②平成28年度の入会者

856名＝新規入会774名 + 再入会82名

③平成28年度の死亡喪失者 1名

④会員区分の変更 2名 (正会員から名誉会員)

2) 賛助会員増減

なし

3) 名誉会員増減

平成28年度承認

増 2名

近藤 潤子 矢野 正子

減 1名

兼松 百合子

4) 平成28年10月31日現在 会員数

正会員 8,755

名誉会員 16

賛助会員 5

会員総数 8,776

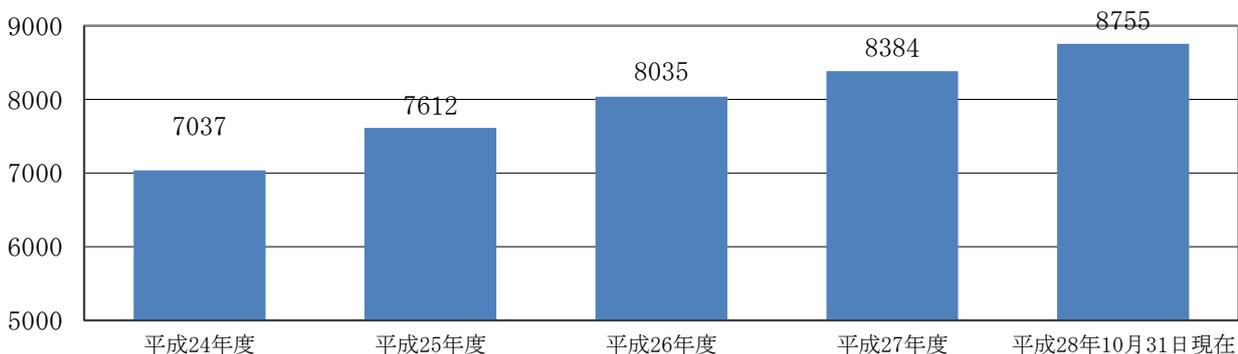
2. 地区別正会員数 8,755名

地区	都道府県	正会員数	地区	都道府県	正会員数	地区	都道府県	正会員数	
北海道	北海道	371	北陸	富山	46	九州・沖縄	福岡	438	
				石川	127		佐賀	52	
東北	青森	134	東海	福井	67		長崎	59	
	岩手	64		静岡	180		熊本	86	
	宮城	155		愛知	465		大分	61	
	秋田	69		岐阜	186		宮崎	65	
	山形	65		三重	158		鹿児島	44	
	福島	44		近畿 A	大阪		517	沖縄	95
関東 A	茨城	130	近畿 B	兵庫	501		宛先不明者		49
	栃木	107	中国・四国	滋賀	108		合計		8,755
	群馬	157		京都	236				
	埼玉	293		奈良	87				
千葉	381	和歌山		27					
神奈川	538	中国・四国	鳥取	37					
東京 A	※1		626	島根	59				
東京 B	※2		712	岡山	185				
甲信越	新潟		99	広島	275				
	長野		106	山口	56				
	山梨		79	徳島	65				
			香川	69					
			愛媛	67					
			高知	158					

※1 千代田区、中央区、港区、台東区、文京区、北区、荒川区、足立区、葛飾区、墨田区、江戸川区、江東区、品川区、大田区、島しょ、海外

※2 渋谷区、目黒区、世田谷区、新宿区、中野区、杉並区、豊島区、板橋区、練馬区、多摩地域

3. 正会員数の推移（年度別）



公益社団法人日本看護科学学会 理事会報告

(平成28年4月1日～平成28年12月9日)

平成27年度第6回理事会

日時：平成28年2月21日（日） 13:00～16:40

場所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷3-37-3 富士見ビル201号室）

出席者：理事14名（Web参加1名）、監事1名、

第35回学術集会会長、第36回学術集会会長、第37回学術集会会長

〈審議事項〉

1. 第35回日本看護科学学会学術集会報告
2. 第36回日本看護科学学会学術集会の準備状況
3. 第37回日本看護科学学会学術集会（JANS37）の進捗状況
4. 平成28年度理事会日程調整について
5. 各委員会からの報告および審議事項
 - 1) 総務委員会
 - 2) 和文誌編集委員会
 - 3) 英文誌編集委員会
 - 4) 研究・学術情報委員会
 - 5) 国際活動推進委員会
 - 6) 看護学学術用語検討委員会
 - 7) 看護倫理検討委員会
 - 8) 社会貢献委員会
 - 9) 表彰論文選考委員会（山上の光賞推薦結果報告含む）
 - 10) 広報委員会
 - 11) 若手研究推進委員会
 - 12) 利益相反委員会
 - 13) 研究倫理審査委員会
 - 14) 災害看護支援事業専門委員会（災害看護支援事業資金取崩の承認）
 - 15) 他団体との連携について
 - ・日本看護系学会協議会
 - ・看護系学会等社会保険連合（看保連）
 - ・日本医療安全調査機構
6. 会員管理正職員1名の採用について
7. 就業規則、給与規程、慶弔規程、総務会についての申し合わせ変更案
8. 各委員会の予算執行状況について

9. 平成 27 年度決算見込みと会費配分率の決定について
10. 平成 28 年 6 月定例社員総会の開催について
 - ・ 6 月定例社員総会の議事次第（案）と欠席者の議決権の行使方法について
11. 入会希望者の承認

平成 28 年度第 1 回理事会

日 時：平成 28 年 5 月 22 日（日） 13：00～17：30

場 所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室）

出席者：理事 11 名、監事 1 名、第 36 回学術集会会長、第 37 回学術集会会長

〈審議事項〉

1. 第 36 回 日本看護科学学会学術集会(JANS36)の準備状況
2. 第 37 回 日本看護科学学会学術集会(JANS37)の準備状況
3. 各委員会からの報告および審議事項
4. 本会の公益性について
5. 名誉会員の推薦について
6. 平成 28 年 6 月定例社員総会の議案の承認と進行分担表の確認
 - 1) 平成 27 年度事業報告の承認
 - 2) 平成 27 年度決算の承認
 - 3) 監査報告
7. 就業規則、給与規程、慶弔規程変更案および職務分掌規程の承認
8. 正職員(事務所長)の採用についての承認
9. 入会希望者の承認

平成 28 年度第 2 回理事会

日 時：平成 28 年 6 月 19 日（日） 10：00～10：50

場 所：AP 東京八重洲通り 11 階 O ルーム

（東京都中央区京橋 1 丁目 10 番 7 号 KPP 八重洲ビル 11 階）

出席者：理事 13 名、監事 2 名、第 37 回学術集会会長

〈審議事項〉

1. 平成 28 年 6 月定例社員総会議案について
 - 1) 平成 27 年度事業報告の承認
 - 2) 名誉会員推薦の承認
 - 3) 議事進行および役割分担の確認
2. 第 37 回 日本看護科学学会学術集会(JANS37)の準備状況
3. 各委員会からの審議事項

4. 入会希望者の承認

平成 28 年度第 3 回理事会

日 時：平成 28 年 9 月 4 日（日） 13：00～17：15

場 所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室）

出席者：理事 14 名、監事 1 名、第 36 回学術集会会長、第 37 回学術集会会長

〈審議事項〉

1. 第 36 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
2. 第 37 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
3. 第 39 回日本看護科学学会学術集会（JANS39）会長の候補者選出
4. 各委員会からの報告および審議事項
5. 12 月社員総会の議事次第（案）と欠席者の議決権行使方法についての確認
6. 第 36 回学会総会の議事次第（案）の確認
7. 会計報告（各委員会予算執行状況含む）
8. 日本看護科学学会内部統制案について
9. 契約職員就業規則案の承認
10. 入会希望者の承認
11. その他（故・兼松百合子先生の叙勲についての報告 叙位 従四位 叙勲 瑞宝中綬章）

平成 28 年度第 4 回理事会

日 時：平成 28 年 10 月 23 日（日） 13：00～16：40

場 所：日本看護科学学会事務所（東京都文京区本郷 3-37-3 富士見ビル 201 号室）

出席者：理事 13 名、監事 1 名、第 36 回学術集会会長、第 37 回学術集会会長

〈審議事項〉

1. 第 36 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
2. 第 37 回日本看護科学学会学術集会の準備状況
3. 各委員会からの報告および審議事項
4. 会計報告
5. 平成 29 年度各委員会予算案
6. 12 月社員総会の議案の承認および進行分担表の確認
 - 1) 平成 29 年度事業計画案の承認
 - 2) 平成 29 年度予算案の承認
 - 3) 第 39 回日本看護科学学会学術集会（JANS39）会長候補者の承認
7. 第 36 回学会総会の資料（案）および進行分担表の確認
8. 名誉会員推薦についての申し合わせ変更案の承認
9. 平成 29 年選挙における理事候補者の選出数について

10. 契約職員の採用の承認
11. アルバイト就業規則案、嘱託職員就業規則案の承認
12. 入会希望者の承認

平成 28 年度 11 月書面理事会

日 時：平成 28(2016)年 11 月 1 日(火)

(理事会の決議があったものとみなされた日：平成 28 年 11 月 22 日)

出席者：理事 15 名

〈議案〉

日本看護系学会協議会役員選挙における被選挙人推薦について

平成 28 年度第 5 回理事会

日 時：平成 28 年 12 月 9 日 (金) 14:00~16:00

場 所：日本教育会館 704 号室 (東京都千代田区一ツ橋 2-6-2)

出席者：理事 14 名、監事 2 名、第 37 回学術集会会長

〈審議事項〉

1. 第37回日本看護科学学会学術集会の準備状況
2. 平成 28 年 12 月社員総会議案の承認および進行分担表の確認
 - 1) 平成 29 年度予算案の承認
 - 2) 12 月社員総会進行分担表の確認
3. 第 36 回学会総会資料および進行分担表の確認
4. 各委員会からの審議事項
5. 来年度の理事会日程について
6. 入会希望者の承認

公益社団法人日本看護科学学会 社員総会報告

(平成 28 年 1 月～平成 28 年 12 月)

平成 28 年 6 月定例社員総会

日 時 平成 28 年 6 月 19 日 (日) 11:00～13:30 (予定)

場 所 AP 東京八重洲通り

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目10番7号 KPP八重洲ビル11階

Tel. 03-6228-8109

I. 開会

II. 理事長挨拶

III. 第36回日本看護科学学会学術集会会長の挨拶

IV. 議長指名および議事録署名人の承認

V. 報告事項

1. 理事会および社員総会報告

2. 総務報告

3. 平成 27 年度事業報告

VI. 審議事項

第1号議案 平成27年度決算の承認および会計監査の報告

第2号議案 災害看護支援事業資金取崩の承認

第3号議案 名誉会員の承認

VII. その他

VIII. 閉会

平成 28 年 12 月社員総会

日 時 平成 28 年 12 月 9 日（金） 17：30～20：00

場 所 日本教育会館 7 階 中会議室

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL: 03-3230-2831

I. 開 会

II. 理事長挨拶

III. 第36回日本看護科学学会学術集会会長の挨拶

IV. 議長指名および議事録署名人の承認

V. 総務報告・理事会報告・委員会活動報告

VI. 審議事項

第1号議案 平成29年度事業計画案の承認

第2号議案 平成29年度予算案の承認

第3号議案 第39回日本看護科学学会学術集会会長の承認

VII. 閉 会

公益社団法人日本看護科学学会 平成28年度委員会名簿

※所属機関名は10月10日現在の会員登録データに基づいています。

委員会	役職・担当	氏名	所属機関名
総務	委員長	麻原 きよみ	聖路加国際大学
	理事	西村 ユミ	首都大学東京
和文誌編集	委員長	深堀 浩樹	東京医科歯科大学
		山本 則子	東京大学大学院
		沢 豊予	東北大学大学院
		浅野 みどり	名古屋大学大学院
		荒木 暁子	千葉県千葉リハビリテーションセンター
		五十嵐 歩	東京大学大学院
		和泉 比佐子	神戸大学大学院
		牛久保 美津子	群馬大学大学院
		内田 陽子	群馬大学大学院
		遠藤 淑美	大阪大学大学院
		久保 暢子	大聖路加国際大学
		落合 亮太	横浜市立大学
		小野 智美	聖路加国際大学
		片岡 弥恵子	聖路加国際大学
		河野 あゆみ	大阪市立大学大学院
		佐伯 圭一郎	大分県立看護科学大学
		佐伯 由香子	愛媛大学
		酒井 明子	福岡女子医科大学
		佐藤 紀安子	大阪大学大学院
		英文誌編集	委員長
グレッグ 美鈴	神戸市看護大学		
西垣 昌和	京都大学大学院		
池田 理恵	岡山県立大学		
石川 陽子	首都大学東京		
石原 逸子	神戸市看護大学		
和泉 成子	Oregon Health & Science University		
梅田 麻希	聖路加国際大学		
江藤 宏美	長崎大学		
岡田 彩子	兵庫県立大学		
尾崎 章子	東北大学大学院		
加藤 藤憲	東神市看護大学		
北岡 和代	金沢大学		
佐々木 美奈子	東京医療保健大学		
鈴木 美穂	がん研有明病院		
田村 恵子	京都大学大学院		
永田 村美	東京大学大学院		
中野 口真	自治医科大学		
野口 真弓	日本赤十字豊田看護大学		
深井 喜代子	岡山大学大学院		
法橋 尚宏	神大加国国際大学		
堀内 成子	聖路加国際大学		
前田 ひとみ	熊本女子大		
丸山 昭子	甲南女子大		
丸山 恵子	松陰医科大		
森川 恵や	浜大		
山崎 あけみ	大阪大		
研究・学術情報	委員長	酒井 郁子	千葉大学大学院
		西垣 昌和	京都大学大学院
		荒木 暁子	千葉県千葉リハビリテーションセンター
		石橋 みゆき	千葉大学大学院
		大久保 暢子	聖路加国際大学
		大田 えりか	聖路加国際大学
		小斉 智訓	慶應義塾大
		小田 高悦	日藤看護大
		田高 悦子	横浜市立大
		深堀 浩樹	東京医科歯科大学
会 計			

委員会	役職・担当	氏名	所属機関名
国際活動推進	委員長 委員会	中 山 洋 子 神 原 咲 子 近 藤 暁 子 近 藤 麻 理 子 杉 本 敬 順 子 田 代 順 子 成 瀬 和 子 南 裕 子 柳 澤 理 子	高 知 県 立 大 学 大 学 院 高 知 県 立 大 学 学 学 学 東 京 医 科 歯 科 大 学 学 学 学 東 筑 邦 大 学 学 学 学 聖 路 加 国 際 大 学 学 学 学 東 京 医 科 大 学 学 学 学 高 知 県 立 大 学 学 学 学
看護学術用語検討	委員長 委員会	高 田 早 苗 大 森 純 子 川 原 由 佳 里 小 板 橋 喜 久 代 佐 藤 和 佳 子 野 嶋 佐 由 美	日 本 赤 十 字 看 護 大 学 学 学 学 学 東 北 大 学 大 学 学 学 学 学 日 本 赤 十 字 看 護 大 学 学 学 学 学 京 都 形 立 大 学 学 学 学 学 高 知 県 立 大 学 学 学 学 学
看護倫理検討	委員長 委員会	鎌 倉 や よ い 會 田 信 勝 子 太 田 若 麻 理 子 鶴 田 伊 都 子 飛 宮 下 美 香 百 瀬 由 美 子	日 本 赤 十 字 豊 田 看 護 大 学 学 学 学 学 信 名 古 屋 大 学 大 学 学 学 学 学 名 古 屋 加 国 際 大 学 学 学 学 学 聖 路 加 医 療 科 学 大 学 学 学 学 学 滋 慶 大 学 学 学 学 学 学 学 学 広 島 大 学 学 学 学 学 学 学 学
社会貢献	委員長 委員会	吉 沢 豊 予 子 天 野 雅 美 子 尾 崎 章 香 子 中 村 康 淳 子 布 施 田 樹 海 前 下 村 美 香 宮 山 村 美 枝	東 北 大 学 大 学 学 学 学 学 学 学 東 京 医 科 大 学 学 学 学 学 学 学 東 北 大 学 学 学 学 学 学 学 学 東 北 大 学 学 学 学 学 学 学 学 山 東 大 学 学 学 学 学 学 学 学 京 有 明 医 療 大 学 学 学 学 学 広 島 大 学 学 学 学 学 学 学 学 日 本 赤 十 字 広 島 看 護 大 学 学 学 学 学
表彰論文選考	委員長 理事 委員会	真 田 弘 美 鈴 グ レ ッ グ 則 子 山 本 則 淳 子 須 釜 内 朋 子 竹 上 豪 二 朗 宮 山 下 勢 博 彰	東 京 大 市 学 大 学 学 学 学 学 学 学 神 戸 大 市 看 護 大 学 学 学 学 学 学 学 東 京 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 東 京 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 東 京 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 山 口 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
広報	委員長 委員会	勝 原 裕 美 子 大 坂 和 美 子 北 山 村 愛 子 本 田 順 子	東 横 京 慈 恵 会 医 科 大 学 学 学 学 学 横 浜 大 市 立 大 学 学 学 学 学 学 学 神 戸 大 学 大 学 学 学 学 学 学 学 学
若手研究推進	委員長 委員会	西 村 ユ ミ 岩 國 亜 紀 子 大 澤 絵 里 子 坂 井 志 織 子 鳥 本 吉 靖 子 濱 本 美 穂 子 丸 尾 智 実 子 綿 貫 成 明 子	首 都 大 学 東 京 学 院 京 学 院 京 学 学 学 学 学 兵 庫 大 県 立 大 学 学 学 学 学 学 学 国 立 保 健 医 療 科 学 大 学 学 学 学 学 首 都 大 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 国 際 医 療 福 祉 大 学 学 学 学 学 学 学 佛 南 教 女 子 大 学 学 学 学 学 学 学 甲 南 看 護 大 学 学 学 学 学 学 学 学 国 立 看 護 大 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学
利益相反	委員長 理事 委員会	吉 沢 豊 予 子 麻 原 上 富 美 子 跡 稻 垣 美 智 宏 法 橋 尚 子	東 北 大 学 大 学 学 学 学 学 学 学 聖 路 加 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 東 京 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 神 戸 大 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学
研究倫理審査	委員長 副委員長 外部委員 外部委員 外部委員	井 上 智 子 武 田 祐 子 香 隈 本 邦 彦 戸 塚 理 実 友 納 理 緒	国 立 看 護 大 学 学 学 学 学 学 学 慶 應 義 塾 大 学 学 学 学 学 学 学 武 蔵 野 大 学 学 学 学 学 学 学 学 東 京 医 科 歯 科 大 学 学 学 学 学 学 学 土 肥 法 律 事 務 所 学 学 学 学 学 学 学
災害看護支援専門	委員長 理事 理事 JANA 役員 JANA 役員	中 山 洋 子 麻 原 上 智 予 子 井 沢 豊 予 子 高 山 本 あ い 苗 子 子 子 子 子 子 子	高 知 県 立 大 学 大 学 学 学 学 学 学 学 聖 路 加 国 際 大 学 学 学 学 学 学 学 国 立 看 護 大 学 学 学 学 学 学 学 学 東 北 大 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 日 本 赤 十 字 看 護 大 学 学 学 学 学 学 学 兵 庫 県 立 大 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学
選挙管理	委員長 副委員長	高 木 廣 文 野 口 美 智 弓 岡 美 智 佳 代 子 桑 名 佳 啓 子 二 宮 啓 子	共 立 女 子 大 学 学 学 学 学 学 学 日 本 赤 十 字 豊 田 看 護 大 学 学 学 学 学 群 馬 大 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 立 馬 城 大 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 神 戸 市 看 護 大 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学 学

委員会活動報告

(平成 28 年 1 月～12 月)

(1) 総務委員会

- ・入会審査、会員データ管理
 - 正会員数：8,755 名（平成 28 年 10 月 31 日現在）
 - 会員マイページ利用による更新：2,177 件
（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日）
 - 正会員メールアドレス登録状況：8,607 件（全会員の 98.4%）
- ・会員向け一斉メール配信状況の把握
- ・理事会、社員総会の議事録の確認
- ・事務所業務遂行状況確認（定期的な事務所訪問と職員面談の実施）
- ・就業規則、賃金規程等の各種規程の整備

(2) 和文誌編集委員会

- ・日本看護科学会誌 36 巻（電子ジャーナル）の発刊
- ・編集出版業務を国際文献社から中西印刷に変更し、平成 28 年 1 月 1 日より、電子投稿システム ScholarOne Manuscripts（日本代理店 杏林舎）を利用
- ・平成 28 年 1 月以降の投稿論文数：86 論文（平成 28 年 10 月 21 日現在）
- ・査読過程の変更とそれに伴う投稿規程、査読ガイドラインの変更を検討中
- ・和文誌セミナーの実施（平成 29 年 3 月予定）に向け準備中
「論文の作成・投稿のプロセスと査読のあり方（仮題）」

(3) 英文誌編集委員会

- ・Japan Journal of Nursing Science Vol.13 のオンライン発刊
- ・平成 28 年 1 月以降の投稿論文数：275 論文（平成 28 年 10 月 14 日現在）
- ・JJNS セミナー の開催（平成 28 年 11 月 12 日）
“Improving Your Success at Publishing in English 2016 : The Challenges of Being a Peer Reviewer for Journal Articles”
- ・若手研究者支援事業については実施したが投稿がなく、今年度は中止となった。
- ・JJNS プロモーションとして、平成 27 年受賞論文をフリーアクセス化
- ・平成 27 年度の impact factor は、0.458 であった（平成 28 年 6 月発表による）。

(4) 研究・学術情報委員会

- ・第 7 回 JANS セミナー開催（平成 28 年 3 月 26 日）
テーマ：エビデンスを統合するーシステムティックレビューとメタ統合ー
参加人数：会場受講 428 名（会員 196 名、非会員 42 名）、Web 受講 190 名（会員のみ）

- ・第8回JANSセミナー開催（平成28年6月19日）
 テーマ：介入研究ことはじめーデザインと実施ー
 参加人数：会場受講 225名（会員 184名、非会員 41名）、Web受講 456名（会員のみ）
- ・「看護・保健分野の政策提言のための研究課題の優先順位の特定および研究推進の Strategic Plan の設定」について調査中
- ・看護系学会等社会保険連合関連委員会の情報交換会出席

(5) 国際活動推進委員会

- ・異文化データベースの見直し
 JANS35 交流集会にてデータベースに協力できる会員を募り、現在、データベース入力のトライアルを検討している。
- ・「看護系大学院教育のグローバル化」に関する状況調査結果を JANS36 交流集会にて報告
 看護学のグローバルスタンダードや国際看護学教育のあり方の検討
- ・国際看護・国際保健に関わる会員のネットワークの構築

世界看護科学学会（World Academy of Nursing Science : WANS）

- ・第5回 WANS 学術集会について WANS 事務局として開催を支援
 - 2017年10月20日～22日 Thailand (Bangkok)
 - Thailand Nursing and Midwifery Council (TNMC) と共同開催
 - 会長 Dr. Tassana Boontong

(6) 看護学学術用語検討委員会

- ・本委員会にて検討された学術用語の利用実態を知るために、Web 調査を実施
- ・看護学における学術用語及び概念開発に関する議論をホームページにて発信

(7) 看護倫理検討委員会

- ・研究者が研究活動における不正防止及び倫理の遵守に関して、どのように実行しているのかについて Web 調査を実施。JANS36 交流集会にて報告。
- ・研究倫理に関する啓発活動として、既存の e-learning を JANS ホームページにて紹介（ICR 臨床研究入門、eLCoRE）。
- ・個人情報保護法等の改正に伴う「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の改正に関するパブリックコメントについて検討。

(8) 社会貢献委員会

- ・JANS36 市民フォーラム（12月11日）企画・運営

身終い～人生の終え方～

- ・ JANS36 ナーシング・サイエンス・カフェ（12月11日）企画・運営
看護職を志向するあなたへー看護の多様な働き方紹介しますー

(9) 表彰論文選考委員会

- ・ 表彰論文選考手順の一部改正（来年度より実施）
- ・ 優秀賞、奨励賞論文を審査・選考し、理事会にて承認を得た。

【優秀賞】

- (ORIGINAL ARTICLES) Kyoko Asazawa

Effects of a partnership support program for couples undergoing fertility treatment.

Japan Journal of Nursing Science 2015;12(4),354-366

- (ORIGINAL ARTICLES) Tomoko Kamei, Fumiko Kajii, Yuko Yamamoto, Yukako Irie,
Rumi Kozakai, Tomoko Sugimoto, Ayako Chigira and Naoakira Niino

Effectiveness of a home hazard modification program for reducing falls in urban community-dwelling older adults: A randomized controlled trial.

Japan Journal of Nursing Science 2015;12(3),184-197

【奨励賞】

- (ORIGINAL ARTICLES) Michiko (Nakakita) Kenyon

Randomized controlled trial on the relaxation effects of back massages for puerperants on the first post-partum day.

Japan Journal of Nursing Science 2015;12(2),87-98

- (ORIGINAL ARTICLES) Chie Teramoto, Atsushi Matsunaga and Satoko Nagata

Cross-sectional study of social support and psychological distress among displaced earthquake survivors in Japan.

Japan Journal of Nursing Science 2015;12(4),320-329

(10) 広報委員会

- ・ JANS36 広報活動

学術集会の記録、市民フォーラム、ナーシング・サイエンス・カフェのフライヤー作成

- ・ 学会 HP 内容の更新・整理
- ・ 他機関からのリンク依頼に関する基準の設置
- ・ 研究を実践へトランスレーションするための広報

日本看護科学会誌で発表された研究を看護実践者（および他職種の専門家）に親しんでもらうための広報方法の検討

(11) 若手研究推進委員会

- ・ JANS36 交流集会、若手ステップアップ研修、若手ブース（広報、未来像の収集等）の企画、モーニングセッションのファシリテーター、交流の企画
- ・ JANS 若手の会ホームページでの情報発信
- ・ 若手の研修ニーズ調査の実施
- ・ JANS 若手メーリングリストによる情報の発信
- ・ 日本学術会議主催 公開シンポジウムの参加と情報の発信
- ・ 第9回 JANS セミナーの企画
- ・ エリア・コーディネーターの組織化

(12) 利益相反委員会

- ・ 役員、学術集会会長、各委員会委員の利益相反申告書の内容確認
- ・ 学会誌投稿時の利益相反申告を実施（平成 28 年 4 月 1 日より）
- ・ 学術集会演題登録時の利益相反申告を実施（JANS36 より）
- ・ セミナー、学術集会等の講師の利益相反申告を実施
- ・ 「日本看護科学学会における学術活動の利益相反に関する指針」の細則の一部改正

(13) 研究倫理審査委員会

- ・ 1 件の申請があり、簡易審査を行った
- ・ 本会委員会活動における研究（調査）を対象とした研究倫理審査に関する申し合わせを策定

(14) 災害看護支援事業専門委員会

日本看護系学会協議会と連携した助成事業の終了により「災害看護支援事業専門委員会」は、5 年間の活動をもって終了するが、今後、災害等の緊急事態が発生した場合は、臨時委員会を組織するなどして対応していく。

共同事業のために設けた募金口座の残金は、JANS 及び JANA 理事会、社員総会の承認を得て、公益社団法人熊本県看護協会へ全額寄付した。

(15) 他機関との連携活動

① 日本看護系学会協議会

- ・ 平成 28 年度総会出席（平成 28 年 6 月 29 日）
場所：日本赤十字看護大学広尾キャンパス

議案：平成 27 年度会計報告、災害看護支援について、平成 28 年度事業活動案・予算案について 他

- ・ JANA 平成 29 年度役員選挙に関わる選挙管理委員の推薦

② 看護系学会等社会保険連合（看保連）

- ・ 平成 28 年度社員総会出席（平成 28 年 4 月 25 日）

場所：聖路加国際大学

議案：平成 27 年度決算、平成 28 年度事業計画・予算案

- ・ 理事会へ出席

平成 30 年度診療報酬・介護報酬同時改訂に向けた要望書の作成について 他

- ・ 研究助成対象者の推薦

③ 日本学術会議

日本学術会議から提供のあったニュース・メールを役員に提供

④ その他の機関

山上の光賞への近藤潤子氏の推薦・受賞

第 2 回山上の光賞 5 月 10 日に授賞式が行われた（於：ANA インターコンチネンタルホテル 東京）。

日本医療安全調査機構

医療事故個別調査部会員を推薦

(16) 選挙管理委員会

- ・ 平成 28 年 9 月 22 日 第 1 回選挙管理委員会開催

理事候補者選挙準備（選挙日程決定、公示文書作成、選挙人・被選挙人確認、Web 選挙システム投票要領作成）

電子投票受付期間：平成 29 年 2 月 1 日（水）正午～26 日（日）23：59

開票：平成 29 年 2 月 27 日（月） 午前 11 時より

平成 27 年度 決算報告

平成 28 年 6 月社員総会（平成 28 年 6 月 19 日開催）にて承認済み

貸借対照表
平成 28年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	108,290,296	100,906,066	7,384,230
未収会費	2,630,000	3,030,000	△ 400,000
未収金	1,389,946	274,618	1,115,328
たな卸資産	290,679	308,761	△ 18,082
前払費用	3,968,240	2,257,981	1,710,259
流動資産合計	116,569,161	106,777,426	9,791,735
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
選挙積立預金	1,399,859	0	1,399,859
退職給付引当資産	3,878,900	3,919,500	△ 40,600
災害看護支援資産	78,472	718,438	△ 639,966
特定資産合計	5,357,231	4,637,938	719,293
(3) その他固定資産			
什器備品	168,030	216,940	△ 48,910
一括償却資産	71,656	178,835	△ 107,179
電話加入権	72,030	72,030	0
保証金	1,400,000	1,400,000	0
長期前払費用	108,000	0	108,000
その他固定資産合計	1,819,716	1,867,805	△ 48,089
固定資産合計	7,176,947	6,505,743	671,204
資産合計	123,746,108	113,283,169	10,462,939
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,000	0	7,000
未払費用	3,753,922	2,688,732	1,065,190
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	244,800	539,900	△ 295,100
前受会費	18,130,000	17,270,000	860,000
預り金	147,590	124,381	23,209
流動負債合計	22,353,312	20,693,013	1,660,299
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,878,900	3,919,500	△ 40,600
固定負債合計	3,878,900	3,919,500	△ 40,600
負債合計	26,232,212	24,612,513	1,619,699
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	72,926,624	72,926,624	0
2. 指定正味財産			
寄付金	78,472	718,438	△ 639,966
指定正味財産合計	78,472	718,438	△ 639,966
(うち特定資産への充当額)	(78,472)	(718,438)	(△ 639,966)
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	24,508,800	15,025,594	9,483,206
一般正味財産合計	24,508,800	15,025,594	9,483,206
(うち特定資産への充当額)	(1,399,859)	(0)	(1,399,859)
正味財産合計	97,513,896	88,670,656	8,843,240
負債及び正味財産合計	123,746,108	113,283,169	10,462,939

貸借対照表内訳表
平成 28年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	0	0	108,290,296	0	108,290,296
未収会費	0	0	2,630,000	0	2,630,000
未収金	1,379,946	0	10,000	0	1,389,946
たな卸資産	290,679	0	0	0	290,679
前払費用	3,242,029	0	726,211	0	3,968,240
他会計短期貸付金	0	0	29,970,704	△ 29,970,704	0
流動資産合計	4,912,654	0	141,627,211	△ 29,970,704	116,569,161
2. 固定資産					
(1)基本財産					
基本財産合計	0	0	0	0	0
(2)特定資産					
選挙積立預金	0	0	1,399,859	0	1,399,859
退職給付引当資産	0	0	3,878,900	0	3,878,900
災害看護支援資産	78,472	0	0	0	78,472
特定資産合計	78,472	0	5,278,759	0	5,357,231
(3)その他固定資産					
什器備品	61,653	2,717	103,660	0	168,030
一括償却資産	0	0	71,656	0	71,656
電話加入権	0	0	72,030	0	72,030
保証金	0	0	1,400,000	0	1,400,000
長期前払費用	0	0	108,000	0	108,000
その他固定資産合計	61,653	2,717	1,755,346	0	1,819,716
固定資産合計	140,125	2,717	7,034,105	0	7,176,947
資産合計	5,052,779	2,717	148,661,316	△ 29,970,704	123,746,108
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	7,000	0	0	0	7,000
未払費用	3,029,282	0	724,640	0	3,753,922
未払法人税等	0	70,000	0	0	70,000
未払消費税等	0	0	244,800	0	244,800
前受会費	250,000	0	17,880,000	0	18,130,000
預り金	0	0	147,590	0	147,590
他会計短期借入金	26,872,786	3,097,918	0	△ 29,970,704	0
流動負債合計	30,159,068	3,167,918	18,997,030	△ 29,970,704	22,353,312
2. 固定負債					
退職給付引当金	0	0	3,878,900	0	3,878,900
固定負債合計	0	0	3,878,900	0	3,878,900
負債合計	30,159,068	3,167,918	22,875,930	△ 29,970,704	26,232,212
III 正味財産の部					
1. 基金					
基金	0	0	72,926,624	0	72,926,624
2. 指定正味財産					
寄付金	78,472	0	0	0	78,472
指定正味財産合計	78,472	0	0	0	78,472
(うち特定資産への充当額)	(78,472)	(0)	(0)	(0)	(78,472)
3. 一般正味財産					
(1)代替基金	0	0	0	0	0
(2)その他一般正味財産	△ 25,184,761	△ 3,165,201	52,858,762	0	24,508,800
一般正味財産合計	△ 25,184,761	△ 3,165,201	52,858,762	0	24,508,800
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(1,399,859)	(0)	(1,399,859)
正味財産合計	△ 25,106,289	△ 3,165,201	125,785,386	0	97,513,896
負債及び正味財産合計	5,052,779	2,717	148,661,316	△ 29,970,704	123,746,108

正味財産増減計算書

平成 27年 4月 1日 から平成 28年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	965	888	77
受取会費			
正会員受取会費	83,890,000	80,360,000	3,530,000
賛助会員受取会費	300,000	300,000	0
受取会費計	84,190,000	80,660,000	3,530,000
事業収益			
学会誌収益	1,476,260	988,370	487,890
学術集会収益	41,452,000	41,373,000	79,000
広告販売収益	6,705,340	6,933,600	△ 228,260
事業収益計	49,633,600	49,294,970	338,630
受取寄付金			
受取寄付金	144,000	144,000	0
助成金収益	0	336,800	△ 336,800
受取寄付金振替額	700,000	1,210,000	△ 510,000
受取寄付金計	844,000	1,690,800	△ 846,800
雑収益			
受取利息	5,095	4,189	906
著作権料収益	433,546	373,600	59,946
セミナー収益	4,479,000	4,331,000	148,000
懇親会収益	698,000	586,000	112,000
雑収益計	5,615,641	5,294,789	320,852
経常収益計	140,284,206	136,941,447	3,342,759
(2) 経常費用			
事業費			
期首たな卸高	288,460	286,916	1,544
和文誌発行費	5,505,693	9,992,625	△ 4,486,932
英文誌発行費	18,494,753	16,312,822	2,181,931
期末たな卸高	△ 290,679	△ 308,761	18,082
給料手当	10,455,792	6,034,139	4,421,653
臨時雇賃金	154,700	144,200	10,500
賞与	621,471	412,422	209,049
退職給付費用	447,427	309,147	138,280
福利厚生費	1,369,540	749,406	620,134
旅費交通費	4,254,539	3,098,072	1,156,467
通信運搬費	3,922,131	3,112,696	809,435
減価償却費	12,966	17,182	△ 4,216
消耗品費	1,144,091	848,267	295,824
修繕費	95,355	59,991	35,364
印刷製本費	10,581,653	12,097,652	△ 1,515,999
慶弔費	22,395	3,831	18,564
光熱水料費	445,607	308,819	136,788
賃借料	2,861,596	1,771,372	1,090,224
保険料	51,016	2,893	48,123
諸謝金	1,043,467	1,488,000	△ 444,533
租税公課	691,203	910,275	△ 219,072
支払助成金	700,000	4,710,000	△ 4,010,000
委託費	16,141,475	11,245,128	4,896,347
会議費	1,172,968	1,195,151	△ 22,183
表彰費	169,720	257,070	△ 87,350
渉外費	15,130	30,000	△ 14,870
会場費	19,820,471	23,551,845	△ 3,731,374
通勤手当	877,663	666,755	210,908
雑費	1,685,956	1,420,396	265,560
事業費計	102,756,559	100,728,311	2,028,248

正味財産増減計算書
平成 27年 4月 1日 から平成 28年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料手当	6,646,989	9,497,968	△ 2,850,979
賞与	399,159	664,166	△ 265,007
臨時雇賃金	218,000	117,750	100,250
退職給付費用	287,373	497,853	△ 210,480
福利厚生費	879,630	1,206,842	△ 327,212
会議費	6,026,990	4,235,316	1,791,674
渉外費	10,800	10,789	11
旅費交通費	565,490	848,440	△ 282,950
通信運搬費	1,221,848	2,691,023	△ 1,469,175
減価償却費	128,061	169,344	△ 41,283
通勤手当	563,707	1,052,835	△ 489,128
消耗品費	417,053	390,356	26,697
修繕費	61,245	96,609	△ 35,364
印刷製本費	47,002	351,904	△ 304,902
慶弔費	14,385	6,169	8,216
光熱水料費	286,206	497,323	△ 211,117
賃借料	1,837,947	2,852,621	△ 1,014,674
保険料	32,768	4,657	28,111
租税公課	21,651	22,398	△ 747
支払負担金	150,000	150,000	0
委託費	4,118,331	3,569,320	549,011
資格喪失者会費	2,370,000	1,650,000	720,000
懇親会費	1,017,420	961,514	55,906
雑費	617,023	895,227	△ 278,204
管理費計	27,939,078	32,440,424	△ 4,501,346
経常費用計	130,695,637	133,168,735	△ 2,473,098
評価損益等調整前当期経常増減額	9,588,569	3,772,712	5,815,857
当期経常増減額	9,588,569	3,772,712	5,815,857
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損失			
什器備品除却損	15,062	0	15,062
その他の経常外費用			
前期たな卸高修正損	20,301	0	20,301
経常外費用計	35,363	0	35,363
当期経常外増減額	△ 35,363	0	△ 35,363
税引前当期一般正味財産増減額	9,553,206	3,772,712	5,780,494
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	9,483,206	3,702,712	5,780,494
一般正味財産期首残高	15,025,594	11,322,882	3,702,712
一般正味財産期末残高	24,508,800	15,025,594	9,483,206
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	60,000	442,048	△ 382,048
特定資産受取利息	34	139	△ 105
受取寄付金計	60,034	442,187	△ 382,153
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 700,000	△ 1,210,000	510,000
当期指定正味財産増減額	△ 639,966	△ 767,813	127,847
指定正味財産期首残高	718,438	1,486,251	△ 767,813
指定正味財産期末残高	78,472	718,438	△ 639,966
III 基金増減の部			
基金受入額	0	0	0
基金返還額	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	72,926,624	72,926,624	0
基金期末残高	72,926,624	72,926,624	0
IV 正味財産期末残高	97,513,896	88,670,656	8,843,240

正味財産増減計算書内訳表
平成 27年 4月 1日 から平成 28年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計							収益事業等会計			法人会計	合計
	学術振興	学会誌	学術集会	市民講座等	災害看護支援	共通	小計	広告販売事業	連携事業	小計		
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
特定資産運用益												
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	965	965
受取会費												
正会員受取会費	0	0	0	0	0	41,945,000	41,945,000	0	0	0	41,945,000	83,890,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	300,000	300,000	0	0	0	0	300,000
受取会費計	0	0	0	0	0	42,245,000	42,245,000	0	0	0	41,945,000	84,190,000
事業収益												
学会誌収益	0	1,476,260	0	0	0	0	1,476,260	0	0	0	0	1,476,260
学術集会収益	0	0	41,452,000	0	0	0	41,452,000	0	0	0	0	41,452,000
広告販売収益	0	0	0	0	0	0	0	6,705,340	0	6,705,340	0	6,705,340
事業収益計	0	1,476,260	41,452,000	0	0	0	42,928,260	6,705,340	0	6,705,340	0	49,633,600
受取寄付金												
受取寄付金	0	24,000	120,000	0	0	0	144,000	0	0	0	0	144,000
受取寄付金振替額	0	0	0	0	700,000	0	700,000	0	0	0	0	700,000
受取寄付金計	0	24,000	120,000	0	700,000	0	844,000	0	0	0	0	844,000
雑収益												
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,095	5,095
著作権料収益	0	433,546	0	0	0	0	433,546	0	0	0	0	433,546
セミナー収益	2,746,000	1,733,000	0	0	0	0	4,479,000	0	0	0	0	4,479,000
懇親会収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	698,000	698,000
雑収益計	2,746,000	2,166,546	0	0	0	0	4,912,546	0	0	0	703,095	5,615,641
経常収益計	2,746,000	3,666,806	41,572,000	0	700,000	42,245,000	90,929,806	6,705,340	0	6,705,340	42,649,060	140,284,206
(2) 経常費用												
事業費												
期首たな卸高	0	288,460	0	0	0	0	288,460	0	0	0	0	288,460
和文誌発行費	0	5,505,693	0	0	0	0	5,505,693	0	0	0	0	5,505,693
英文誌発行費	0	18,494,753	0	0	0	0	18,494,753	0	0	0	0	18,494,753
期末たな卸高	0	△ 290,679	0	0	0	0	△ 290,679	0	0	0	0	△ 290,679
給料手当	4,299,918	1,627,372	4,041,161	208,861	0	0	10,177,312	139,240	139,240	278,480	0	10,455,792
臨時雇賃金	61,200	10,000	83,500	0	0	0	154,700	0	0	0	0	154,700
賞与	254,086	97,725	240,394	12,542	0	0	604,747	8,362	8,362	16,724	0	621,471
退職給付費用	182,929	70,357	173,071	9,030	0	0	435,387	6,020	6,020	12,040	0	447,427
福利厚生費	559,931	215,359	529,759	27,639	0	0	1,332,688	18,426	18,426	36,852	0	1,369,540
旅費交通費	1,629,154	992,755	1,406,145	197,152	0	0	4,225,206	26,427	2,906	29,333	0	4,254,539
通信運搬費	878,524	334,355	2,545,833	80,043	0	0	3,838,755	57,783	25,593	83,376	0	3,922,131
減価償却費	6,362	2,810	2,944	304	0	0	12,420	200	346	546	0	12,966
消耗品費	298,198	102,269	704,977	13,105	0	0	1,118,549	16,806	8,736	25,542	0	1,144,091
修繕費	38,986	14,994	36,885	1,924	0	0	92,789	1,283	1,283	2,566	0	95,355
印刷製本費	567,425	212,983	9,629,284	169,991	0	0	10,579,683	985	985	1,970	0	10,581,653
慶弔費	9,156	3,522	8,663	452	0	0	21,793	301	301	602	0	22,395
光熱水料費	182,185	70,071	172,368	8,993	0	0	433,617	5,995	5,995	11,990	0	445,607
賃借料	1,169,953	449,982	1,106,907	57,752	0	0	2,784,594	38,501	38,501	77,002	0	2,861,596
保険料	20,858	8,022	19,734	1,030	0	0	49,644	686	686	1,372	0	51,016
諸謝金	167,055	341,836	501,165	33,411	0	0	1,043,467	0	0	0	0	1,043,467
租税公課	75,915	99,769	330,145	0	0	0	505,829	185,374	0	185,374	0	691,203
支払助成金	0	0	0	0	700,000	0	700,000	0	0	0	0	700,000
委託費	2,393,089	1,104,022	12,373,716	206,660	0	0	16,077,487	31,994	31,994	63,988	0	16,141,475
会議費	52,238	132,343	943,406	28,204	0	0	1,156,191	16,777	0	16,777	0	1,172,968
表彰費	0	169,720	0	0	0	0	169,720	0	0	0	0	169,720
渉外費	0	0	14,866	0	0	0	14,866	264	0	264	0	15,130
会場費	613,116	553,392	18,261,150	68,059	0	0	19,495,717	324,754	0	324,754	0	19,820,471
通勤手当	358,830	138,011	339,493	17,713	0	0	854,047	11,808	11,808	23,616	0	877,663
雑費	392,875	197,864	1,018,941	38,914	0	0	1,648,594	24,437	12,925	37,362	0	1,685,956
事業費計	14,211,983	30,947,760	54,484,507	1,181,779	700,000	0	101,526,029	916,423	314,107	1,230,530	0	102,756,559

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1)当法人は、公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2)たな卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法によっている。

(3)固定資産の減価償却の方法

法人税法の規定に基づき次のとおりの償却方法を採用している。

①什器備品・・・・・・定率法によっている。

②一括償却資産・・・・・・3年間にわたる定額法によっている。

(4)引当金の計上基準

退職給付引当金・・・・・・当期末退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

(5)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
選挙積立預金	0	1,500,249	100,390	1,399,859
退職給付引当資産	3,919,500	734,800	775,400	3,878,900
災害看護支援資産	718,438	60,034	700,000	78,472
小計	4,637,938	2,295,083	1,575,790	5,357,231
合計	4,637,938	2,295,083	1,575,790	5,357,231

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち基金からの充 当額)	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
特定資産					
選挙積立預金	1,399,859	(0)	(0)	(1,399,859)	(0)
退職給付引当資産	3,878,900	(0)	(0)	(0)	(3,878,900)
災害看護支援資産	78,472	(0)	(78,472)	(0)	(0)
小計	5,357,231	(0)	(78,472)	(1,399,859)	(3,878,900)
合計	5,357,231	(0)	(78,472)	(1,399,859)	(3,878,900)

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
山本由子 被災高齢者への継続的な健康維持支援プログラムの検討	350,000
中井寿雄 医療処置を要する在宅療養者と支援者が共同で備えをするための「災害備えチェックシート」の開発ー生命維持のために医療機器を要する在宅療養者の災害に対する備えの実態ー	350,000
合計	700,000

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	2,814,866	2,646,836	168,030
一括償却資産	321,539	249,883	71,656

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	選挙積立預金	0	1,500,249	100,390	1,399,859
	退職給付引当資産	3,919,500	734,800	775,400	3,878,900
	災害看護支援資産	718,438	60,034	700,000	78,472
	特定資産計	4,637,938	2,295,083	1,575,790	5,357,231
その他固定資産	什器備品	216,940	0	48,910	168,030
	一括償却資産	178,835	0	107,179	71,656
	電話加入権	72,030	0	0	72,030
	保証金	1,400,000	0	0	1,400,000
	長期前払費用	0	108,000	0	108,000
	その他固定資産計	1,867,805	108,000	156,089	1,819,716

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	3,919,500	734,800	775,400	0	3,878,900

財産目録
平成 28年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元現金	運転資金として	115,816
	学術集会用小口現金	運転資金として	31,654
預金	普通預金		
	みずほ銀行本郷支店	運転資金として	90,515,516
	三菱東京UFJ銀行 本郷支店	運転資金として	2,518,651
	三菱東京UFJ銀行 本郷支店	運転資金として	11,568,760
	ゆうちょ銀行	運転資金として	1,185,572
	ゆうちょ銀行	運転資金として	1,848,000
	三菱東京UFJ銀行 新宿支店	運転資金として	506,327
未収会費	平成27年度会費263名分	会員会費未収金	2,630,000
未収金	㈱国際文献社	学会誌・講演集販売代金の未収金H27.4～28.3月分	1,365,660
	中西印刷㈱	講演集H28.1～3月分	8,100
	㈱メテオ	著作権料H27.4～28.3月分会誌著作権料	3,186
	第7回 JANSセミナーWEB受講参加費 平成27年度会費	会員1名 H28.4.1入金分(会員1名)	3,000 10,000
たな卸資産	学会誌・学術講演集在庫	学会誌及び学術講演集	290,679
前払費用	(有)プライムアソシエイツ	JJNS編集事務費H28.4.1～H28.12.31	2,316,600
	ウィリアム・ルイス・ホルツマー	JJNS編集長報酬H28.4～6月分	650,000
	㈱損害保険ジャパン	火災保険料H28.4月分	847
	(有)富士見ビル(フジミビル)	事務所賃借料H28.4月分	288,000
	弥生㈱	年間ネット更新料H28.4～H29.3月分	43,200
	春日土地㈱ 事務所賃借更新料 H28.4.1～H29.3.31	管理業務の用に供している。	144,000
	AIU損害保険㈱	個人情報漏洩保険 H28.4.1～H29.3.31	76,500
	一般財団法人日本教育会館	施設利用料 H28.12.9実施理事会及び社員総会 会場費	173,664
㈱杏林舎	年間システム利用料及びネット料H28.4～H28.12月分	275,429	
流動資産合計			116,569,161
(固定資産)			
特定資産			
選挙積立預金	普通預金 みずほ銀行本郷支店	選挙のための資産である。	1,399,859
退職給付引当資産	普通預金 三菱東京UFJ銀行本郷支店	退職金の引当資産である。	3,878,900
災害看護支援資産	普通預金 三菱東京UFJ銀行本郷支店	指定正味財産を財源とする財産であり、災害看護支援事業のために寄付を受けている。	78,472
その他固定資産			
什器備品	東京都文京区本郷3-37-3 オカムラ両開き書庫他5点	共用財産であり、公益目的事業の用に36.7%、収益事業の用に1.6%、管理業務の用に61.7%供している。公益目的事業の用に供している部分は、公益目的保有財産である。	168,030
一括償却資産	東京都文京区本郷3-37-3	管理業務の用に供している。	71,656
電話加入権	東京都文京区本郷3-37-3	管理業務の用に供している。	72,030
保証金	東京都文京区本郷3-37-3	管理業務の用に供している。	1,400,000
長期前払費用	東京都文京区本郷3-37-3	管理業務の用に供している。	108,000
固定資産合計			7,176,947
資産合計			123,746,108

(流動負債)	未払金	第7回 JANSセミナー参加費	会員1名 重複入金返金予定分	7,000
	未払費用	日本郵便株 参加費領収書郵送料68通	学術振興事業(第7回JANSセミナー)で使用した郵送料である。	5,576
		案内パンフレット 8333件 郵便料金口座振替	第36回学術集会事業の郵送料である。 管理業務の口座振替料である。	583,310 12,538
		(株)国際文献社	学会誌事業の合本版印刷作成費用である。	423,576
		中西印刷(株)	学会誌次号の編集査読事務費等である。	608,580
		国際活動推進委員会	学術振興事業の委員交通費である。	24,510
		看護倫理検討委員会委員	学術振興事業の委員交通費である。	55,230
		学校法人聖路加国際大学	学術振興事業(第7回JANSセミナー)の施設利用料である。	176,600
		会員	学術振興事業(第7回JANSセミナー)の交通費及び打合せ代である。	39,470
		(株)プランニングウィル	学術振興事業(第7回JANSセミナー)の運営委託業者である。	1,112,430
		厚生労働省年金局	社会保険料(H28.3月分) 法人負担分	194,350
		(株)マイナビ	管理業務の職員募集サイト利用料である。	432,000
		(株)カントー	エプソンのパソコン購入費用である。	85,752
	未払法人税等	東京都千代田都税事務所	平成27年度法人都民税	70,000
	未払消費税等	本郷税務署	平成27年度消費税及び地方消費税	244,800
	前受会費	平成28～29年度会費 他	平成28年度正会員10,000円×1,785名 平成29年度正会員10,000円×3名 平成29年度賛助会員 50,000円×5口	18,130,000
	預り金	事務所員 中村コンサルティング オフィス、他3名	給与源泉税・住民税 報酬源泉税	68,393 79,197
流動負債合計				22,353,312
(固定負債)	退職給付引当金	事務所員7名分	平成28年3月末日要支給額	3,878,900
固定負債合計				3,878,900
負債合計				26,232,212
正味財産				97,513,896

平成27年度 収支計算書

平成27年4月 1日 から平成 28年 3月 31日 まで

科 目	備考	平成27年度 予算額 (H. 27. 4. 1～ H. 28. 3. 31)	平成27年度 決算額 (H. 27. 4. 1～ H. 28. 3. 31)	差異
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入		1,000	965	35
特定資産受取利息収入		1,000	965	35
②会費収入		85,700,000	83,290,000	2,410,000
正会員会費収入	※1	85,400,000	82,990,000	2,410,000
賛助会員会費収入	※2	300,000	300,000	0
③学会誌収入（講演集含む）	※3	340,000	1,456,260	△ 1,116,260
④寄附金収入（学術集会含まず）		500,000	84,034	415,966
災害看護支援寄附金収入（利息含む）		500,000	60,034	439,966
その他の寄附金収入	※4	0	24,000	△ 24,000
⑤雑収入		4,403,000	4,937,641	△ 534,641
受取利息収入		3,000	5,095	△ 2,095
著作権料収入		100,000	433,546	△ 333,546
セミナー収入		4,300,000	4,479,000	△ 179,000
その他雑収入	※5	0	20,000	△ 20,000
④学術集会収入		40,128,600	48,975,340	△ 8,846,740
学術集会参加費収入	※6	31,550,000	41,452,000	△ 9,902,000
事前登録会員（10,000円）		14,000,000	20,330,000	△ 6,330,000
事前登録非会員（12,000円税込）		3,600,000	5,424,000	△ 1,824,000
事前登録学部生（3,000円）		600,000	21,000	579,000
当日登録会員（12,000円）		8,400,000	9,180,000	△ 780,000
当日登録非会員（14,000円税込）		4,200,000	6,440,000	△ 2,240,000
当日登録学部生（3,000円）		750,000	57,000	693,000
寄附金・助成金収入		550,000	120,000	430,000
広告販売収入		7,388,600	6,705,340	683,260
スポンサードセミナー		1,425,600	1,080,000	345,600
企業展示出展料		2,692,000	4,804,540	△ 2,112,540
広告掲載料		3,271,000	820,800	2,450,200
懇親会収入		640,000	698,000	△ 58,000
雑収入		0	0	0
事業活動収入合計（I a）		131,072,600	138,744,240	△ 7,671,640
2. 事業活動支出				
①事業費支出		78,467,020	80,312,657	△ 1,845,637
学会誌発行費支出		18,270,000	23,822,138	△ 5,552,138
和文誌編集・印刷費支出	※7	3,770,000	5,327,385	△ 1,557,385
英文誌編集費支出	※8	14,500,000	18,494,753	△ 3,994,753
編集活動費支出		3,613,000	2,902,297	710,703
和文誌編集委員会費支出	※9	830,000	295,599	534,401
英文誌編集委員会費支出		2,783,000	2,606,698	176,302
看護学術振興費支出		6,221,000	2,880,286	3,340,714
研究・学術情報委員会費支出	※10	422,000	142,390	279,610
国際活動推進委員会費支出	※11	2,295,000	1,097,769	1,197,231
看護学術用語検討委員会費支出	※12	1,134,000	293,916	840,084
看護倫理検討委員会費支出	※13	500,000	124,258	375,742
表彰論文選考委員会費支出		220,000	100,520	119,480
若手研究推進委員会		500,000	365,235	134,765
災害看護支援事業専門委員会支出	※14	150,000	56,198	93,802
災害看護支援助成金支出		1,000,000	700,000	300,000
研究学術活動費支出		3,420,000	2,625,752	794,248
受賞論文表彰費支出		180,000	169,720	10,280
研究倫理審査委員会費		120,000	2,040	117,960
セミナー等開催費	※15	3,120,000	2,453,992	666,008
社会的活動費支出		1,275,000	891,439	383,561
社会貢献委員会支出（市民フォーラム開催費含む）		745,000	453,996	291,004
広報委員会費支出（公益目的事業分）	※16	530,000	437,443	92,557

平成27年度 収支計算書
平成27年4月1日 から平成 28年 3月 31日 まで

科 目	備考	平成27年度 予算額 (H. 27. 4. 1～ H. 28. 3. 31)	平成27年度 決算額 (H. 27. 4. 1～ H. 28. 3. 31)	差異
学術集会費支出		45,668,020	47,190,745	△ 1,522,725
当年度開催学術集会		42,457,460	45,698,779	△ 3,241,319
会場費支出		18,150,000	18,585,904	△ 435,904
会議費支出	※17	1,888,500	887,094	1,001,406
旅費交通費支出	※18	2,350,000	1,290,208	1,059,792
消耗品費支出		427,560	426,165	1,395
通信運搬費支出(プログラム送料含む)		1,484,760	1,561,493	△ 76,733
印刷製本費支出(プログラム印刷含む)	※19	6,594,840	9,288,464	△ 2,693,624
委託費支出	※20	7,020,000	11,345,860	△ 4,325,860
人件費支出		483,000	121,500	361,500
謝金支出	※21	1,470,000	501,165	968,835
渉外費支出		50,000	15,130	34,870
雑支出		1,538,800	658,376	880,424
懇親会運営費支出		1,000,000	1,017,420	△ 17,420
次年度開催学術集会(準備期間)		3,210,560	1,491,966	1,718,594
会場費支出		0	0	0
会議費支出		70,000	73,089	△ 3,089
旅費交通費支出		600,000	55,900	544,100
消耗品費支出		100,000	25,020	74,980
通信運搬費支出(パンフレット送料含む)		1,113,560	877,981	235,579
印刷製本費支出(パンフレット印刷含む)		1,077,000	459,501	617,499
委託費支出		0	0	0
人件費支出		200,000	0	200,000
謝金支出		0	0	0
雑支出		50,000	475	49,525
②管理費支出		47,660,000	47,914,772	△ 254,772
給料手当支出(賞与含む)		18,980,000	18,016,661	963,339
通勤費支出	※22	2,200,000	1,441,370	758,630
福利厚生費支出		2,415,000	2,249,170	165,830
退職給付支出		300,000	775,400	△ 475,400
学会総会費		300,000	138,387	161,613
社員総会費		3,260,000	3,588,846	△ 328,846
理事会費		2,210,000	2,276,009	△ 66,009
委託費支出	※23	4,910,000	6,496,357	△ 1,586,357
渉外費支出		30,000	10,800	19,200
旅費交通費支出		430,000	354,760	75,240
通信運搬費支出		2,390,000	2,524,143	△ 134,143
消耗品費支出		1,200,000	1,066,385	133,615
印刷製本費支出		130,000	151,502	△ 21,502
慶弔費支出		50,000	36,780	13,220
光熱水料費支出		730,000	731,813	△ 1,813
貸借料支出		4,957,000	4,699,543	257,457
保険料支出		8,000	83,784	△ 75,784
諸謝金支出		50,000	0	50,000
租税公課支出	※24	570,000	712,854	△ 142,854
負担金支出		150,000	150,000	0
修繕費支出		50,000	156,600	△ 106,600
選挙費用支出		220,000	97,420	122,580
雑支出		1,280,000	1,584,994	△ 304,994
総務委員会支出	※25	450,000	340,986	109,014
利益相反委員会支出	※26	0	84,225	△ 84,225
広報委員会支出(法人会計分)	※27	390,000	145,983	244,017
事業活動支出合計(I b)		126,127,020	128,227,429	△ 2,100,409
事業活動収支差額(I a)-(I b)		4,945,580	10,516,811	△ 5,571,231
II 予備費支出		3,000,000	0	3,000,000
当期収支差額		1,945,580	10,516,811	△ 8,571,231
前期繰越収支差額		56,145,690	85,775,652	△ 29,629,962
次期繰越収支差額		58,091,270	96,292,463	△ 38,201,193

平成26年12月社員総会に提出した予算の事業活動収支の部のみを抜粋して表示している。

- ※1 平成26年度未収会費 89名分、平成27年度会費 6426名分(新入会772名、再入会89名含む)、平成28年度前受会費 1782名分、平成29年度前受会費 2名分。
平成27年度会費を平成26年度中に納入した 1698名分は26年度決算に算入済。平成27年度会費納入率 (8124名 /8389名 96.8%)
- ※2 (株)日本看護協会出版会2口、(株)医学書院・(株)南江堂・(株)へるす出版・ニューヴェルヒロカワ 各1口。会費1口50,000円
- ※3 和文誌の無料公開化に伴い、定期購読の減少を見込んでいたが定期購読者数が想定を上回った。
和文誌35巻 889,920円(136冊)〈会員(32冊)・定期購読(非会員104冊)〉
和文誌バックナンバー 302,400円(104冊)〈定期購読99冊・単発5冊〉
35回講演集 231,540円(125冊)〈定期購読74冊・単発18冊・当日販売33冊〉
講演集バックナンバー32,400円(15冊)〈定期購読9冊・単発6冊〉
- ※4 一般社団法人学術著作権協会より著作権管理業務への支援として。
- ※5 英文誌投稿論文超過ページ課金(投稿規程:筆頭者が非会員の場合は刷り上がりで11頁を超えたものについて1頁1万円を課金)
- ※6 参加者を3,000名(事前1,850名、当日1,150名)と見込んでいたが、実際には3,736名(事前2,492名、当日1,244名)の参加があった。
- ※7 編集業者および、電子投稿・査読システムの変更に伴う移行費用、引継ぎ費用により予算を上回った。編集事務費448.2万円、システム導入費 64.7万円、査読者に対する新査読システム説明会 19.8万円。
- ※8 WILEYへの支払いは予算979万円に対して846万円であった(133万円減)。平成26年は投稿数が290編であったが、平成27年度は307編の投稿があり編集経費がかかった。
- ※9 査読者へ学術集会前日に新査読システムの説明会を行なったため、セミナー経費が削減された。
- ※10 本項に予算計上していたセミナー開催費をJANSセミナー等開催費に科目変更した。
- ※11 世界看護科学学会(WANS)第4回学術集会(Hannover)への旅費4名分を予算計上したが、本会からは1名のみ支出。
- ※12 理事会の決定に基づき看護用語の維持管理システムの運用及び専用ホームページ立ち上げを行わなかった。該当する費用をWeb調査に充当する予定であったのが、学会のシステムを無料で利用できたために、予算47万円が未使用となった。委員会メンバー交代により旅費が35万円減少した。
- ※13 委員会メンバーの交代により旅費が減少。講師謝金(2万円)がなかったこと、委員会開催時の経費節約により予算を下回った。
- ※14 活動費用(5.6万円)と助成金支出(70万円)を分けて明記。
災害寄付金の目標金額 50万円のところ 6万円だった。助成金額(70万円)は前期繰越金(71.8万円)から支出した。
- ※15 第7回JANSセミナーは、大学で開催のため会場費が見込みより30万円下回った。経費(委託費・謝金・消耗品費など)も節約。
- ※16 ポスターチラシの送料が予算10万円のところ3.5万円であった。
【広報委員会の活動費のうち、公益目的事業(市民フォーラム、ナーシング・サイエンス・カフェなど)に携わる経費を事業費に計上】
- ※17 開催日当日の費用が節減された。
- ※18 講演者16名中9名が会員であり旅費の支払いがなかったため予算を下回った。また、委員会を大学で開催することにより交通費が抑えられた。
- ※19 講演集閲覧用アプリの導入費用(74万円)を含む。
事前参加申込者の増加に伴い印刷部数を3200部から3460部に増刷した。1冊あたりの印刷費を1000円と見込んでいたが、演題数の増加に伴いページ数が増えたため1500円となり約200万円支出が増加した。
- ※20 演題件数の増加に伴い演題処理・講演集原稿製作費用、映像・音響オペレーター費用、事前参加者受付費用などが予算を約200万円上回った。運営委託業者の業務管理費 250万円(請求金額全体の7%)を委託費に計上。
- ※21 講演者の過半数(16名中9名)が会員だったため、謝金規定により支払い金額が少なくなった。
- ※22 正職員1名の退職により給与・賞与・福利厚生費が減少。退職給付支出は予算を上回った。
- ※23 弁護士顧問料等(64万円)〈契約前法律相談6万円、契約後顧問料26万円(H27年8月~H28年3月)、就業規則作成32万円〉、人材派遣料(1名:59万円/2ヶ月)、正職員募集広告料(43万円)については予算を組んでいないため予算を上回った。
- ※24 収益事業(学会誌販売収入、著作権収入、学術集会に伴う広告販売収入)に関わる法人税および法人事業税は0円、法人住民税約7万円(均等割分のみ)。消費税課税売上高(学術集会非会員参加費収入、広告販売収入、学会誌販売収入など)に係る消費税(原則課税方式)。
- ※25 【これまで事業費に計上していた、総務委員会活動費は公益認定上の区分に準じて管理費に計上】
- ※26 予算立案時に未設置であったため予算を組んでいなかった。委員会を1回開催。
【利益相反委員会活動費は、公益認定上の区分に準じて管理費に計上】
- ※27 委員会メンバーの交代、メール会議の複数回開催により旅費(22万円)が節減された。
【広報委員会の活動費のうち、委員会開催費(会議費・旅費交通費)は管理費に計上】

独立監査人の監査報告書

平成28年5月2日

公益社団法人日本看護科学学会
理事長 萱間 真美 殿

牧真之介公認会計士事務所

公認会計士 牧 真 之 介 (印影省略)

<財務諸表監査>

私は、公益社団法人日本看護科学学会の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度の貸借対照表及び損益計算書(公益認定等ガイドラインI-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。)並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表(以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。)について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

私は、公益社団法人日本看護科学学会の平成28年3月31日現在の平成27年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

私の責任は、財産目録等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益社団法人日本看護科学学会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監査報告書

公益社団法人日本看護科学学会

理事長 萱間 真美 様

平成 27 年(2015 年)4 月 1 日から平成 28 年(2016 年)3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行に関して、本監査報告を作成し、以下のとおり報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

私ども監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表(貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書、財産目録)および収支計算書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(2) 財務諸表の監査結果

財務諸表は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成 28 年(2016 年)5 月 6 日

公益社団法人日本看護科学学会

監事 阿曾 洋子 (印影省略)

監事 南 裕子 (印影省略)

公益社団法人 日本看護科学学会 平成 29 年度事業計画

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(1) 学術集会

- ・ 第 37 回日本看護科学学会学術集会開催
学術集会長：吉沢豊予子(東北大学)
日程：平成 29 (2017) 年 12 月 16 日 (土)・17 日 (日)
場所：仙台国際センター 会議棟・展示棟
- ・ 第 38 回日本看護科学学会学術集会準備
学術集会長：佐伯由香 (愛媛大学)
日程：平成 30 (2018) 年 12 月 15 日 (土)・16 日 (日)
場所：ひめぎんホール
- ・ 第 39 回日本看護科学学会学術集会準備

(2) 総務委員会

- ・ 入会審査を行う。
- ・ 会員管理データシステムの稼働状況を把握し、会員向けのコミュニケーションサービス(一斉メールの配信、学術集会・セミナー参加登録、Web 選挙等)の充実を目指す。
- ・ 本会の目的を達成し、持続可能な事務所職員体制を確立するために、各職員が立てた業務目標についてその達成度を評価・査定する。また職員のスキルアップを図るため研修へ参加する機会を設け、より一層の事務所機能の効率化と強化を図る。

(3) 和文誌編集委員会

- ・ 日本看護科学学会誌第 37 巻を発行する。
- ・ 新査読ガイドラインに則り、査読システムの効果的運用と質向上をはかる。
- ・ 学会誌への投稿を促進し、原著論文・総説の増加を図る。
- ・ 和文誌編集委員、査読者の活動を支援する教育プログラム(交流集会)を開催する。
- ・ 投稿論文の図表・引用文献の記載に関するイニシャルチェックを中西印刷株式会社に委託する。

(4) 英文誌編集委員会

- ・ Japan Journal of Nursing Science Vol. 14 を発行する。
- ・ JJNS セミナーを開催する。
- ・ JJNS プロモーション活動を実施する。
- ・ 若手研究者の支援活動をする。

(5) 研究・学術情報委員会

看護学の専門分野横断的研究、学際的研究、国際的研究の推進を目的に、以下の事業を実施する

- ・看護における優先研究課題に関する情報収集および発信
- ・研究者ネットワーク構築
 - －看護系学会、関連領域学会との連携事業(研究プロジェクト、セミナー等のイベント)の推進
 - －交流集会、シンポジウムの開催
 - －研究助成、留学助成実施可能性の検討
- ・看護学研究者の研究能力向上のための事業
 - －JANS セミナーの開催
 - －教育資料(セミナー講義、資料)のアーカイブ化

(6) 国際活動推進委員会

- ・JANS ホームページ内の「異文化看護データベース」を「グローバル看護データベース」に名称を変更し、再構築することに取り組む。
- ・世界看護科学学会(WANS)事務局として2017年10月20日～22日にバンコク(タイ国)で開催される学術集会の準備を行うとともに、学術集会と合わせてWANS理事会を開催する。また、WANS事務局としてHPの維持管理、WANSネットワークの拡大を行う。

(7) 看護学学術用語検討委員会

- ・看護学学術用語の検討に関する議論の発信
- ・看護学学術用語の検討
 - 一般社会や当事者との協働をふまえた用語の検討
 - 看護実践を表す新しい用語の掘り起こし
 - 学術用語に関する調査より「検討してほしい」との意見のあった用語の検討

(8) 看護倫理検討委員会

- ・研究倫理の遵守及び研究活動不正防止について啓発活動を行う。
- ・看護学が関連する倫理的社会事象に対する情報収集と対応案を検討する。

(9) 社会貢献活動

- ・第37回学術集会に向けた社会貢献事業を検討し準備する。

- ・第 37 回学術集会での「市民フォーラム」および「ナーシング・サイエンス・カフェを開催する。
- ・JANS としての社会貢献のあり方を検討する。

(10) 表彰論文選考委員会

- ・表彰論文の選考を行い公表する。

(11) 広報委員会

- ・学会広報媒体の作成・維持・管理(①HP の維持・管理②他委員会との連携による学会活動の広報③学会活動やイベント学術集会の記録④学会広報媒体の評価と改善)を行う。
- ・WANS に関連した広報(①WANS 学術集会の広報 ②WANS 学術集会における JANS の広報)を行う。
- ・学術集会に関する広報活動(次回学術集会企画委員会、社会貢献委員会との連携による学術集会の広報活動)を行う。
- ・研究を実践へトランスレーションするための広報(新事業)

(12) 若手研究推進委員会

- ・学術集会の交流集会、若手研究者のニーズに沿った研修を企画運営し、若手の研究活動推進に努める。
- ・国内外の多様な学問分野における若手研究者との交流を図り、情報を発信し学際的な視点を養う素地をつくる。
- ・「若手の会」専用の HP の管理・更新を通して、活動を公表、周知、意見交換やニーズ把握と、若手研究者が学び集える場を整備する。
- ・各地域で「若手の会」の活動を牽引する「エリア・コーディネーター」を育成し、若手研究者が各地域で活躍できる基盤をつくる。
- ・メーリングリストを介して、情報交換や相互交流を促進する。

(13) 利益相反委員会

- ・役員、委員会委員、和文誌・英文誌投稿者、学術集会における発表者を対象に COI を実施し、評価を行う。
- ・利益相反における問題が生じた折の対処をする。

(14) 研究倫理審査委員会

- ・申請があり次第、倫理審査(メール審査、委員会招集審査のいずれか)を行う。
- ・その他、研究倫理審査に関わる事項の検討をする。

(15)他機関との連携

下記の各機関と連携し、依頼事項に対応する。

- ① **日本看護系学会協議会**
- ② **看護系学会等社会保険連合（看保連）**
- ③ **日本学術会議**

(16) 選挙管理委員会

- ・理事候補者選挙結果より理事候補者名簿を作成し理事会へ提出する。
- ・次期選挙管理委員会への申し送り事項を整理する。

平成29年度 収支予算書

平成 29年 4月 1日 から平成30年 3月 31日 まで

科 目	備考	平成29年度 予算額 (H. 29. 4. 1～ H. 30. 3. 31)	平成28年度 予算額 (H. 28. 4. 1～ H. 29. 3. 31)	差異
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入		1,000	1,000	0
特定資産受取利息収入		1,000	1,000	0
②会費収入		91,800,000	88,800,000	3,000,000
正会員会費収入	※1	91,500,000	88,500,000	3,000,000
賛助会員会費収入	※2	300,000	300,000	0
③学会誌収入		590,000	480,000	110,000
④寄附金・助成金収入（学術集会含まず）	※3	1,500,000	0	1,500,000
⑤雑収入		5,496,000	4,525,000	971,000
受取利息収入		1,000	3,000	△ 2,000
著作権料収入		250,000	200,000	50,000
セミナー収入		5,245,000	4,322,000	923,000
JANSセミナー	※4	3,880,000	2,677,000	1,203,000
JJNSセミナー		1,365,000	1,645,000	△ 280,000
その他雑収入		0	0	0
⑥学術集会収入		50,885,000	53,758,000	△ 2,873,000
学術集会参加費収入		41,050,000	41,400,000	△ 350,000
事前登録会員（10,000円）		17,000,000	15,000,000	2,000,000
事前登録非会員（12,000円税込）		6,000,000	5,400,000	600,000
事前登録学部生（3,000円税込）		30,000	150,000	△ 120,000
当日登録会員（12,000円）	※5	14,400,000	14,400,000	0
当日登録非会員（14,000円税込）		3,500,000	6,300,000	△ 2,800,000
当日登録学部生（3,000円税込）		120,000	150,000	△ 30,000
寄附金・助成金収入		0	1,000,000	△ 1,000,000
広告販売収入		9,385,000	10,358,000	△ 973,000
企業展示出展料		5,249,000	4,806,000	443,000
広告掲載料		2,840,000	2,549,000	291,000
スポンサードセミナー		1,296,000	3,003,000	△ 1,707,000
懇親会収入		450,000	950,000	△ 500,000
雑収入		0	50,000	△ 50,000
事業活動収入合計（I a）		150,272,000	147,564,000	2,708,000
2. 事業活動支出				
①事業費支出		83,643,000	89,743,000	△ 6,100,000
学会誌発行費支出		19,800,000	19,212,000	588,000
和文誌編集費支出	※6	3,970,000	3,300,000	670,000
英文誌編集費支出	※7	15,830,000	15,912,000	△ 82,000
編集活動費支出		1,885,000	2,075,000	△ 190,000
和文誌編集委員会費支出		700,000	830,000	△ 130,000
英文誌編集委員会費支出		1,185,000	1,245,000	△ 60,000
看護学術振興費支出		5,802,000	4,256,000	1,546,000
研究・学術情報委員会費支出		1,420,000	960,000	460,000
国際活動推進委員会費支出	※8	2,195,000	680,000	1,515,000
看護学学術用語検討委員会費支出		847,000	1,186,000	△ 339,000
看護倫理検討委員会費支出		450,000	600,000	△ 150,000
表彰論文選考委員会費支出		180,000	220,000	△ 40,000
若手研究推進委員会支出		710,000	610,000	100,000
災害看護支援事業専門委員会支出		0	0	0
研究学術活動支援費支出		7,050,000	5,078,000	1,972,000
受賞論文表彰費支出		185,000	180,000	5,000
研究倫理審査委員会費		120,000	120,000	0
利益相反委員会費支出	※9	—	456,000	△ 456,000
データベース構築事業支出	※10	1,500,000	0	1,500,000
JANSセミナー開催費	※11	3,880,000	2,677,000	1,203,000
JJNSセミナー開催費		1,365,000	1,645,000	△ 280,000
社会的活動費支出		1,035,000	1,738,000	△ 703,000
社会貢献委員会支出（市民フォーラム開催費含む）		535,000	868,000	△ 333,000
広報委員会費支出（公益目的事業分）	※12	500,000	870,000	△ 370,000
総務費支出		—	35,000	△ 35,000
総務委員会費支出	※13	—	35,000	△ 35,000

科 目	備考	平成29年度 予算額 (H. 29. 4. 1~ H. 30. 3. 31)	平成28年度 予算額 (H. 28. 4. 1~ H. 29. 3. 31)	差異
学術集会費支出		48,071,000	57,349,000	△ 9,278,000
当年度開催学術集会		45,292,000	55,149,000	△ 9,857,000
会場費支出		25,108,000	37,623,000	△ 12,515,000
会議費支出		2,026,000	2,085,000	△ 59,000
旅費交通費支出		1,710,000	2,300,000	△ 590,000
消耗品費支出		747,000	350,000	397,000
通信運搬費支出(プログラム送料含む)	※14	1,313,000	468,000	845,000
印刷製本費支出(プログラム印刷含む)		5,628,000	1,532,000	4,096,000
委託費支出		6,650,000	6,616,000	34,000
人件費支出		21,000	674,000	△ 653,000
謝金支出		984,000	891,000	93,000
賃借料支出		0	250,000	△ 250,000
渉外費支出		0	150,000	△ 150,000
雑支出		305,000	1,130,000	△ 825,000
懇親会運営費支出		800,000	1,080,000	△ 280,000
次年度開催学術集会(準備期間)		2,779,000	2,200,000	579,000
会場費支出		0	0	0
会議費支出		40,000	70,000	△ 30,000
旅費交通費支出		40,000	500,000	△ 460,000
消耗品費支出		409,000	20,000	389,000
通信運搬費支出(学術集会のご案内送料含む)		947,000	801,000	146,000
印刷製本費支出(学術集会のご案内印刷含む)		608,000	609,000	△ 1,000
委託費支出		519,000	200,000	319,000
人件費支出		216,000	0	216,000
謝金支出		0	0	0
賃借料支出		0	0	0
渉外費支出		0	0	0
雑支出		0	0	0
②管理費支出		54,896,000	54,789,000	107,000
給料手当支出	※15	22,200,000	21,330,000	870,000
福利厚生費支出		3,800,000	3,150,000	650,000
通勤費支出		1,700,000	1,800,000	△ 100,000
退職給付支出		300,000	300,000	0
学会総会費	※16	400,000	500,000	△ 100,000
社員総会費		4,000,000	3,900,000	100,000
理事会費		3,100,000	2,650,000	450,000
委託費支出	※17	5,880,000	5,260,000	620,000
渉外費支出		30,000	30,000	0
旅費交通費支出	※18	380,000	40,000	340,000
通信運搬費支出	※19	2,368,000	2,130,000	238,000
消耗品費支出		2,120,000	2,320,000	△ 200,000
印刷製本費支出		82,000	96,000	△ 14,000
慶弔費支出		50,000	50,000	0
光熱水料費支出		735,000	804,000	△ 69,000
賃借料支出	※20	3,840,000	4,630,000	△ 790,000
保険料支出		85,000	85,000	0
諸謝金支出		50,000	50,000	0
租税公課支出	※21	1,072,000	1,072,000	0
負担金支出	※22	150,000	150,000	0
修繕費支出	※23	50,000	202,000	△ 152,000
資格喪失者会費支出	※24	—	2,000,000	△ 2,000,000
雑支出		1,640,000	1,500,000	140,000
総務費支出		864,000	740,000	124,000
総務委員会費支出	(※13)	35,000	0	35,000
利益相反委員会費支出	(※9)	109,000	0	109,000
広報委員会費支出(法人会計分)	(※12)	370,000	0	370,000
選挙費用支出	※25	350,000	740,000	△ 390,000
事業活動支出合計(I b)		138,539,000	144,532,000	△ 5,993,000
事業活動収支差額(I a)-(I b)		11,733,000	3,032,000	8,701,000
Ⅱ 什器備品購入支出		108,000	105,000	3,000
Ⅲ 予備費支出		3,000,000	3,000,000	0
当期収支差額		8,625,000	△ 73,000	8,698,000
前期繰越収支差額		96,219,463	96,292,463	△ 73,000
次期繰越収支差額		104,844,463	96,219,463	8,625,000

- ※1 平成29年4月1日時点での会員数を8,700名、新入会者・再入会者850名、資格喪失者400名と見積もり、合計請求人数を9,150名として計上。
- ※2 ㈱日本看護協会出版会2口、㈱医学書院・㈱南江堂・㈱へるす出版・(有)ヌーヴェルヒロカワ各1口。会費1口5万円。
- ※3 グローバル看護データベースの構築費用として科研費(150万円)を平成28年11月に応募している。(国際活動推進委員会)
- ※4 会員限定で募集をするWeb受講者が増加傾向にあるため収入の増加を見込んでいる。
- ※5 JANS37学術集会の参加費は据え置く。
- ※6 日本看護科学会誌(電子ジャーナル)制作費、編集関連経費及びオンライン投稿・査読システム(ScholarOne Manuscripts)利用料。平成29年度より投稿論文イニシャルチェックを依頼するため増額している。
- ※7 JJNS(Online Journal)の編集費、編集事務費、英文誌編集長謝金(旅費交通費を含め年間260万円)。
- ※8 世界看護科学学会(WANS)事務局業務を担っている。平成29年10月に開催される第4回WANS学術集会(バンコク・タイ国)の開催準備、WANS理事会に出席するための旅費および、グローバル看護データベース構築に関する科研費対象外経費等を計上している。
- ※9 【これまで事業費に計上していた、利益相反委員会活動費を公益認定上の区分に準じて管理費に計上している】
- ※10 科研費(※3)を充当するため独立事業として新設した。グローバル看護データベース構築費用に関する対象費用を計上している。
- ※11 年に2回(6月・3月頃)開催する。民間施設使用および、参加者増加による資料印刷部数の増加により増額している。
- ※12 【これまで事業費に計上していた、広報委員会の活動費のうち、公益目的事業(市民フォーラム、ナーシング・サイエンス・カフェなど)に携わる費用を事業費に計上し、委員会開催費(会議費・旅費交通費)を管理費に計上している】
- ※13 【これまで事業費に計上していた、総務委員会活動費を公益認定上の区分に準じて管理費に計上している】
- ※14 JANS37学術集会はプログラム集を発行する予定のため、通信運搬費と印刷製本費が増加している。
- ※15 正職員4名、契約職員1名(育児休暇中の正職員の交代要員)、パート2名(週1~3日勤務)の給与・賞与。
- ※16 理事交代に伴う臨時理事会を1回(7月頃)開催するため理事会費が増額加している。定例理事会6回(5月、6月、9月、10月、12月、2月)、社員総会2回(6月・12月/民間会議場使用)、学会総会1回(12月/学術集会の会場を使用)。
- ※17 【法人として必要】
 会計事務所(136万円)<会計顧問料(77万)、内閣府提出書類作成料(11万)、司法書士(5万円)、社会保険労務士(43万円)>、
 公認会計士監査報酬(36万円)、顧問弁護士(39万円)
 【学会事業に直接必要】
 会員管理システム利用料(199万円)<基本利用料(96万)、会費コンビニ決済機能(22万)、学術集会参加登録・行事管理機能(67万)、アンケート機能(14万)>、JANSホームページ年間維持更新管理料(67万円)、ホームページ英訳費用(32万円)、英文誌編集長契約事務手続き(5万円)、Web会議システムV-CUBE(44万円)、封入委託費(9万円)
 【事務所運営費】
 事務所警備委託費(21万円)
- ※18 事務所職員の出張に伴う交通費。第37回学術集会は仙台開催のため、前年度(東京開催)より増額している。通勤費は「通勤手当」に別途計上している。
- ※19 新任の理事、委員、査読委員へ委嘱状、理事長就任の挨拶状を送付するため増額している。
- ※20 事務所賃借料、コピー機リース料、紙折り機リース料。なお、複合機の機種変更に伴い「複合機リース料」を本項目に計上していないため賃借料支出が減少している。(公益法人会計基準により賃借料ではなく債務計上している)
- ※21 収益事業(学会誌販売収入、著作権収入、学術集会に伴う広告販売収入)に関わる法人税および法人事業税は0円、法人都民税約7万円(均等割分のみ)。消費税課税売上高(学術集会非会員参加費収入、広告販売収入、学会誌販売収入など)に係る消費税(本則課税方式)。
- ※22 日本看護系学会協議会8万円、看護系学会等社会保険連合(看保連)7万円。
- ※23 複合機の機種変更に伴い保守管理料が減少している。
- ※24 活動経費支出ではないため予算から削除する。決算時に正味財産増減計算書に表示される。
- ※25 選挙後の役員新任投票にかかわる費用。

【特定資産積立金】

将来において生じる支出のために、会計基準に従って計算した金額を毎年積み立て、特定資産として管理をしている。当該費用が発生した場合は積立金から支出をする。

科目	平成29年度積立金額 (単位:円)	備考
①選挙費用積立預金	1,000,000	代議員選挙(4年に1度)、役員候補者選挙(2年に1度)に関わる費用
②退職給付引当資産	1,510,000	正職員の退職金

平成29年度 収支予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日

公益社団法人 日本看護科学学会

科目	公益目的事業					収益事業等			法人会計	合計	
	学術振興	学会誌	学術集会	市民講座等	共通	計	広告販売	連携事業			計
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
受取会費											
正会員受取会費					45,750,000	45,750,000				45,750,000	91,500,000
賛助会員受取会費					300,000	300,000					300,000
事業収益											
学会誌収益(講演集含む)		590,000				590,000					590,000
学術集会参加費			41,050,000			41,050,000					41,050,000
広告販売収入							9,385,000		9,385,000		9,385,000
寄付金・助成金	1,500,000					1,500,000					1,500,000
雑収益											
受取利息										2,000	2,000
著作権料		250,000				250,000					250,000
懇親会収入										450,000	450,000
セミナー収益	3,880,000	1,365,000				5,245,000					5,245,000
その他の雑収入											
経常収益計	5,380,000	2,205,000	41,050,000		46,050,000	94,685,000	9,385,000		9,385,000	46,202,000	150,272,000
① 事業費											
学会誌発行費		19,800,000				19,800,000					19,800,000
受賞論文表彰費		185,000				185,000					185,000
助成金											
会場費	1,196,000	400,000	24,669,285	100,000		26,365,285	438,715		438,715		26,804,000
会議費	151,000	230,000	2,029,901	41,000		2,451,901	36,099		36,099		2,488,000
旅費交通費	3,462,601	1,066,385	1,808,925	210,670		6,548,581	33,691	3,113	36,804		6,585,385
消耗品費	822,776	242,990	1,635,135	106,052		2,806,953	37,567	17,368	54,935		2,861,888
通信運搬費	865,514	276,736	2,778,258	144,100		4,064,608	58,889	19,400	78,289		4,142,897
印刷製本費	970,413	177,852	6,146,352	101,008		7,395,625	109,634	672	110,306		7,505,931
委託費	4,203,828	1,163,011	8,553,946	172,258		14,093,043	48,172	48,172	96,344		14,189,387
諸謝金	786,000	580,000	984,000	230,000		2,580,000					2,580,000
雑費	458,279	217,030	685,949	43,154		1,404,412	18,765	13,436	32,201		1,436,613
賃借料	955,969	367,680	904,455	47,189		2,275,293	31,459	31,459	62,918		2,338,211
租税公課	101,369	88,040	454,398			643,807	392,220		392,220		1,036,027
通勤手当	423,216	162,775	400,410	20,891		1,007,292	13,927	13,927	27,854		1,035,146
退職給付費用	375,915	144,583	355,658	18,556		894,712	12,371	12,371	24,742		919,454
福利厚生費	946,011	363,850	895,033	46,697		2,251,591	31,132	31,132	62,264		2,313,855
光熱水料費	182,978	70,376	173,118	9,032		435,504	6,022	6,022	12,044		447,548
修繕費	12,447	4,788	11,777	614		29,626	410	410	820		30,446
火災保険料	21,161	8,139	20,020	1,045		50,365	696	696	1,392		51,757
減価償却費					13,889	13,889	192	192	384		14,273
給料手当(委員会等件費含む)	6,836,697	2,395,653	5,465,879	312,811		15,011,040	181,874	181,874	363,748		15,374,788

科目	公益目的事業						収益事業等			法人会計	合計
	学術振興	学会誌	学術集会	市民講座等	共通	計	広告販売	連携事業	計		
②管理費											
懇親会費										800,000	800,000
学会総会費										400,000	400,000
社員総会費										4,000,000	4,000,000
理事会費										3,100,000	3,100,000
会場費											
会議費										40,000	40,000
旅費交通費										702,615	702,615
消耗品費										829,112	829,112
通信運搬費										941,103	941,103
印刷製本費										32,069	32,069
委託費										2,551,613	2,551,613
諸謝金										50,000	50,000
雑費										644,387	644,387
租税公課										35,973	35,973
通勤手当										664,854	664,854
退職給付費用										590,546	590,546
福利厚生費										1,486,145	1,486,145
光熱水料費										287,452	287,452
賃借料										1,501,789	1,501,789
修繕費										19,554	19,554
火災保険料										33,243	33,243
減価償却費										9,167	9,167
渉外費										30,000	30,000
慶弔費										50,000	50,000
支払負担金										150,000	150,000
支払寄付金											
給料手当（委員会等人件費含む）										8,682,212	8,682,212
経常費用計	22,772,174	27,944,888	57,972,499	1,605,077	13,889	110,308,527	1,451,835	380,244	1,832,079	27,631,834	139,772,440
当期経常増減額	-17,392,174	-25,739,888	-16,922,499	-1,605,077	46,036,111	-15,623,527	7,933,165	-380,244	7,552,921	18,570,166	10,499,560
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
経常外収益計											
(2) 経常外費用											
経常外費用計											
当期経常外増減額											
他会計振替額					7,575,428	7,575,428	-7,575,428	0	-7,575,428		
税引前当期一般正味財産増減額	-17,392,174	-25,739,888	-16,922,499	-1,605,077	53,611,539	-8,048,099	357,737	-380,244	-22,507	18,570,166	10,499,560
法人税、住民税及び事業税							70,000		70,000		70,000
当期一般正味財産増減額	-17,392,174	-25,739,888	-16,922,499	-1,605,077	53,611,539	-8,048,099	287,737	-380,244	-92,507	18,570,166	10,429,560

- 注1 従来形式の収支予算書で表示されている各委員会費支出、学術集会費支出は、事業の目的別に区分をし、各費用科目に予算を計上している。
- 注2 従来形式の収支予算書の事業費、管理費は科目ごとに一定の配賦割合（面積割合や従事割合など）に基づき、本収支予算書の事業費、管理費に配賦されている。
- 注3 従来形式の収支予算書に表示されている「退職給付支出」は本予算書には算入しない。
- 注4 従来形式の収支予算書に表示されていない「減価償却費」、「退職給付費用（要積立額）」を本予算書に計上している。

名誉会員就任報告（平成 28 年 6 月社員総会にて承認済み）

名誉会員についての定款上の規程

第 12 条 名誉会員は、看護学の発展に多大の寄与をした者の中から、理事会及び社員総会の承認を得たものとする。

- 2 名誉会員は、社員総会に出席し意見を述べることができる。
- 3 第 1 項の承認について、理事長は、学会総会に報告しなければならない。

第 14 条 会員は、社員総会で定める会費を納めなければならない。

- 2 前項の規定にかかわらず、名誉会員は、会費の納入を要しない。

名誉会員推薦についての理事会申し合わせ事項（平成 28 年 6 月 19 日現在）

1) 「看護学の発展に多大の寄与をした」ことの解釈・・・次のいずれかに該当すること。

- ① JANS の学術集会会長、国際学術集会会長を務めた。
- ② JANS の理事長、もしくは理事を通算 3 期以上務めた。
- ③ ①、②に相当の働きをしたと理事会が認めた。
- ④ その他・・・看護学の発展に格段の貢献をしたもの。

2) 本人の同意があること

	近藤 潤子 氏
会 員 歴	1981年7月25日～現在（通算35年）
学術集会会長歴	第6回日本看護科学学会学術集会会長（1986年）
役 員 代 議 員 歴	発 起 人 1980年～1981年 理 事 長 1981年～1983年、1987年～1989年、1990年～1992年 監 事 1999年～2001年、2002年～2004年、2011年～2015年 評 議 員 1981年～1983年、1987年～1989年、1990年～1992年、 1999年～2001年、2002年～2004年 代 議 員 2007年～2011年、2011年～2015年

	矢野 正子 氏
会 員 歴	1993年7月31日～現在（通算23年）
学術集会会長歴	第19回日本看護科学学会学術集会会長（1999年）
代 議 員 歴	評 議 員 1999年～2001年、2002年～2004年 代 議 員 2007年～2011年、2011年～2015年

第 39 回日本看護科学学会学術集会会長の選任報告

- ・ 第 39 回（平成 31 年度）日本看護科学学会学術集会会長

石垣 和子（石川県立看護大学）